

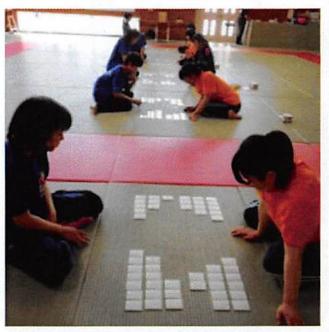
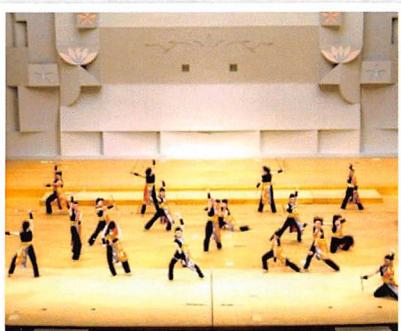
高文連



山口県高等学校文化連盟には16の専門部会があります

演劇／器楽・管弦楽／合唱／吹奏楽／マーチング・バトントワリング／日本音楽／吟詠剣詩舞／
美術・工芸／書道／写真／囲碁／将棋／放送／文芸／自然科学／小倉百人一首かるた

平成29年度第39回山口県高等学校総合文化祭開会式は、シンフォニア岩国を会場に行われました。各部門の大会は、5月の小倉百人一首かるたと将棋を皮切りに、県内各地で行われました。



平成29年7月31日～8月4日、宮城県にて第41回全国高等学校総合文化祭が行われました。山口県からは、県総文で選ばれた代表が、出場しました。



高文連

第 29 号

もくじ

ごあいさつ	1
第39回山口県高等学校総合文化祭総合開会式（音楽4部門発表会）の報告	2
各部門の報告	
演劇部門	3
合唱部門	5
吹奏楽部門	7
器楽・管弦楽部門	9
日本音楽部門	10
マーチングバンド・バトントワリング部門	12
美術・工芸部門	13
書道部門	16
写真部門	18
放送部門	20
囲碁部門	22
将棋部門	24
小倉百人一首かるた部門	26
文芸部門	28
自然科学部門	31
全国高等学校総合文化祭に参加して	33
自主事業・補助事業の報告	34

参考資料

平成29年度 山口県高等学校文化連盟 事業報告	42
平成29年度 山口県高等学校文化連盟会計決算書	43
平成30年度 山口県高等学校文化連盟 事業計画	44
平成30年度 山口県高等学校文化連盟 会計予算書・調整基金会計予算書	45
山口県高等学校文化連盟規約	46
山口県高等学校文化連盟諸規程	50
山口県高等学校文化連盟表彰規程	51
山口県高等学校文化連盟旅費支給基準	53
平成29・30年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧	54
全国高文連の歌	56



ごあいさつ

山口県高等学校文化連盟

会長 阿武慎治

皆様の御協力のもと、ここに平成29年度の山口県高文連の歩みを記した集録ができあがりましたことに感謝申し上げます。本連盟は昭和62年6月に発足し、今年度で、記念すべき30年目となりました。本連盟の活動は、県内外のさまざまな文化・芸術活動への参加の拠点として、高校生の創造力の育成と豊かな心の醸成を行うことであり、今後も、各学校の文化部活動をつなぐ役割を果たしながら、高校生のさまざまな文化芸術活動を支援していきたいと考えていますので、引き続き御理解をよろしくお願ひいたします。

さて、本年度の第39回山口県高等学校総合文化祭は、「届け 文化の輝き 未来へ向かって」をテーマとし、30周年を記念して作成されたシンボルマークのもとに開催されました。それぞれの感性で文化の魅力を受けとめ、自分らしい表現を追求していく中で、『未来へ向かって』新たに『文化の輝き』を創造していく高校生たちからは、多くの可能性を感じさせられました。また、6月15日には、岩国商業高校を主管として、総合開会式が岩国市において盛大に開催されました。当日は、近隣の高校生が多く会場を埋め、力強く情熱にあふれる高校生の合同演奏を楽しみました。代表生徒の堂々たるあいさつ、慶祝演奏、慶祝展示は、高校生の情熱と力強さを感じさせる、見応え、聞き応えあるすばらしいものでした。

各専門部の大会は、5月の将棋部門、百人一首かるた部門をスタートとし、11月の美術・工芸部門の大会まで、7か月にわたって県内各地で開催されました。また、今年度は、山口県において5部門で中国大会が開催されました。文化部は他校の生徒と一緒に活動する機会が少ないのが実情で、部門別の総合文化祭や中国大会は生徒同士の貴重な交流の場となりました。さらに、各分野の専門家が講師や審査員として招聘され、直接指導に当たってくださるので、文化・芸術の深みに触れることができます。各大会を運営されました主管校や顧問の先生方にこの場を借りてお礼申し上げるとともに、今後も一層充実した大会にしていただきますよう、お願い申し上げます。

7月末からは第41回全国高等学校総合文化祭（みやぎ総文）が開催され、本県からは13部門、28校、191名が参加しました。大震災の復興の途上であるみちのくの地で、全国のレベルを体感しつつ、持てる力を十二分に發揮して、すばらしい演奏や競技、作品展示をしてくれました。また、他県の生徒たちとの交流も深めて、大きく成長してくれたものと思っています。持ち帰った全国の文化を日々の活動に活かし、次年度の信州大会ではさらによい成果が發揮できるよう頑張ってほしいと思います。

そのほか、本連盟では高校生が優れた文化や芸術に直接ふれあって感性を高めることを目的に、自主文化事業や補助事業を企画し、希望の学校で開催しています。今後も、高校生の希望を取り入れながら、より多くの学校に参加していただける文化・芸術活動を積極的に企画していきたいと考えておりますので、ぜひ積極的に御活用をお願いいたします。

終わりに、本連盟の活動に御支援、御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝し、厚くお礼申し上げまして、発刊の御挨拶といたします。

第39回高等学校総合文化祭

総合開会式（音楽4部門発表会）の報告

主管校 即 席 湖 文

（岩国商業高等学校教諭）

総合開会式（音楽4部門発表会）の記録

平成29年6月15日(木)～17(土)、シンフォニア岩国を会場に「届け 文化の輝き 未来へ向かって」のテーマの下、山口県・山口県教育委員会・山口県高等学校文化連盟主催、岩国市・岩国市教育委員会共催、山口県中学校文化連盟後援で、総合開会式は 山口県立岩国商業高等学校を主管校として、また音楽4部門発表会は柳井高等學校梅本純子先生を主幹とした岩柳地区関係高等学校の協力により第39回山口県高等学校総合文化祭総合開会式並びに音楽4部門発表会を開催した。予定したプログラムを滞りなく無事実施ことができ、出演者や観覧者等、3日間でのべ約3500人の参加を得て、成功裏に終えた。

式典は、藤永奈帆(岩国商業高校)の開会宣言と岩国地域高等学校吹奏楽団によるファンファーレで開幕した。まず、写真スライドとアナウンスにより、山口県高等学校文化連盟の演劇や器楽・管弦楽等、16部門からなる専門部の紹介と自主事業等、山口県高文連の活動紹介を行った。次いで、主催者を代表して、山口県高等学校文化連盟会長及び山口県教育委員会教育長が挨拶を行い、最後に岩国商業高等学校を代表して住田彰が挨拶した。その後、福田良彦岩国市長から歓迎の言葉をいただき、来賓を紹介した。最後に功績賞、テーマ最優秀賞、山口県高等学校文化連盟創立30周年記念シンボルマーク最優秀賞、優秀賞の表彰を行なった。



新しい高文連旗と30周年記念シンボルマーク原作者の
住田育実さん(徳山高校)

慶祝演奏は、日本音楽、マーチングバンド、吹奏楽、合唱、器楽・管弦楽の演奏を行なった。日本音楽は高水高等学校長唄三味線部が『錦の流れ』を優美に演奏し、マーチングバンドでは岩国商業高等学校吹奏楽部が『ユーロビート・ディズニーメドレー』を披露した。次いで、岩国市内5校の高校の吹奏楽部員約70名で構成する岩国地域高等学校吹奏楽団が、『アルメニアンダンス パート1』を壮大に演奏した。最後に山口県合同管弦楽団・合唱団による『カンタータ《土の歌》より 大地讃頌』『交響詩 フィンランディア』を演奏した。閉幕あたり、客席全員で「翼をください」を合唱し、総合開会式を終了した。



慶祝演奏の様子

慶祝展示は、シンフォニア岩国企画展示ホールで行い、美術・工芸、書道、写真の県内優秀作品を展示した。また、演劇、囲碁等の専門部の大会風景等の活動写真パネルも展示し、文芸部門からも文芸誌が出品された。展示は、音楽4部門発表会開催日2日間も引き続き行った。

岩国高等学校、岩国工業高等学校、岩国総合高等学校の1学年の生徒、岩国高等学校広瀬分校の全校生徒が観覧した。

音楽4部門合同発表会では、2日間にわたって、県内高校63団体が発表を行った。両日とも、最後にステージと客席全員で「翼をください」を演奏した。

大会式を発表会初日の最後に行い、吹奏楽専門部会長である光高校、河口郁史校長が挨拶を行った。

この大会を終え、多くの方々の御協力により、会が成功したことをうれしくおもいます。最後に、この式典・慶祝演奏・慶祝展示の成功に多大なる努力していただいたすべての方々に感謝したいと思います。

各部門の報告

演劇部門

理事長 近 藤 真 美

(防府西高等学校教諭)

1 演劇部門活動報告

(1) 演劇講習会「高校演劇のための照明講習会」

7月26日

下関市生涯学習プラザ

今年度は5年に1度の中国大会開催年にあたり、中国5県を巡回している「高校演劇のための照明講習会」が山口県を会場に実施されました。絶好の機会を逃さないで県内15の高校から生徒125名、教員14名の参加者が集いました。



講習会の様子

講師には、日本照明家協会の木谷幸江氏、中戸千恵氏、伊藤馨氏、吉田真央氏、石田康正氏、田中一由氏をお迎えし、「舞台の安全」・「照明器具の扱い方」・「仕込み、撤収作業」について講義・実習を行っていただきました。地区大会を目前に控えた各校部員たちは、自分たちの照明プランを念頭に置きつつ、有効な情報を得ようと講義にも実習にも熱心に取り組んでいました。

(2) 地区大会(県内4地区)

周防地区 8月13日(日) 4校上演 山口県民文化ホールいわくに

山防地区 8月13日(日) 6校上演 山口南総合センター

宇部地区 8月20日(日) 5校上演 不二輸送機ホール

下関地区 8月9日(水)~10日(木) 7校上演 下関市生涯学習プラザ

地区大会は、例年通り8月に県内4地区で行われました。上演は昨年度より1校減って計22校でしたが、今年度はじめに県大会出場枠のルール改定をしたため、昨年度よりも2校多い計10校が県大会への出場権を得ました。

(3) 第39回山口県高等学校総合文化祭演劇部門

10月28日~29日

不二輸送機ホール

各地区大会を勝ち抜いた10校が、8月以降の練習で更なる磨きをかけた作品を上演しました。審査の結果、光丘高校、山口高校、下関中等教育学校の3校が中国大会への出場権を得ました。

生徒講評部門では、新南陽高校の戎谷光さん、岩国総合高校の河野真大さん、防府商工高校の山崎碧唯さんが最優秀に選ばれ、中国大会へ出場することになりました。

今年度の県大会の講師には、昨年度の演劇講習会でも講師をお願いした劇作家の篠原久美子先生をお迎えしました。先生は、上演校が何を描こうとしたかという点に注目され、その取り組みの価値や苦労に言及され、惜しみないエールを送ってくださいました。「しっかりと勉強して優しくなってください」とのメッセージは、篠原先生の生き方そのものにも感じられ、深く心に刻まれました。また、全体講評での質疑応答も楽しく盛り上がり、「高校生の作品が2500年分のライバルと戦ってどれ位よいかを言えるためには戯曲を読んで勉強するしかない」という御回答をいただいた場面では、会場中に驚きと感動の波が広がりました。

(4) 第55回中国地区高等学校演劇発表会

12月23日~24日

下関市民会館



ポスター原画 下関中等教育学校 大庭輝良々「演劇少年に夏ミカンの花咲く」

地元開催となった今年度の中国大会は、生徒実行委員長の下関西高校の中埜瑞紀さんの歓迎の言葉で始まり、副実行委員長の下関西高校の富家聖良さんのお礼の言葉で締めくられました。受付、速報、放送など諸方面で下関地区の高校生スタッフが活躍して大会運営を支えてくれました。県内外から多くの皆様にご来場いただき、下関コンベンション協会に提出できた宿泊延べ人数証明書は目標の501を超えて604にのぼり、会計面でも随分助けられました。感謝とともに「中国はひとつ」であることを実感する大会となりました。

講師には松本祐子先生(文学座所属演出家)と畠澤聖悟先生(青森県立青森中央高等学校教諭)をお迎えし、ユーモアとエネルギーと愛情あふれるご講評をいただきました。審査の結果、山口県代表3校は残念ながら上位入賞を果たすことはできませんでした。しかし、家族と人生、学校と社会、進路と自立など、高校生が様々な出会いの中で一生懸命に自分の生き方を模索する姿がよく描かれた力作を披露してくれました。生徒講評部門では、防府商工高校の山崎碧唯さんが優秀生徒講評委員として表彰されました。来年度夏の長野総文には、中国地区代表として新南陽高校の戎谷光さんが出場することになりました。

2 第39回山口県高等学校総合文化祭演劇部門記録

第39回山口県高等学校総合文化祭(演劇部門)・第36回山口県高等学校演劇大会上演一覧(上演順)

◎は最優秀校(中国大会出場) □は創作 ○は創作脚本賞

宇部中央高等学校	□ペンタス	左本 詩織／原案、宇部中央高校演劇部／作
◎光丘高等学校	□彼方此方、知り吾	辯岡 築／作
山口中央高等学校	オフライン	島仲 こすも／作、山口中央高校演劇部／潤色
梅光学院中学校・高等学校	秘密の小部屋あり□	Fuyu Emoto／作、梅光学院 中学校・高等学校／潤色
◎山口高等学校	リスタート	新堀 浩司／作、山口高校演劇部／潤色
下関西高等学校	夕暮れに子犬を拾う	越智 優／作、下関西高校演劇部／潤色
西京高等学校	□走れコロス	西京高校演劇部／作
◎下関中等教育学校	□シャケなベイバー	あずまや 太郎／作
華陵高等学校	オフライン	島仲 こすも／作、華陵高校舞台芸術部／潤色
宇部高等学校	□いきづく	○飯田 朱理／原案、宇部高校演劇部／作

講師 審査員 篠原久美子(劇作家 劇団劇作家代表)

審査員 倉田 敏文(照明家 有限会社エフェクト代表)

審査員 中明 有未(山口県立新南陽高等学校 演劇部顧問)



「シャケなベイバー」 下関中等教育学校



「彼方此方、知り吾」 光丘高等学校



「リスタート」 山口高等学校

各部門の報告

合唱部門

理事長 杉 山 和歌奈

(萩光塩学院高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟合唱部門では、今年度次のような事業を行いました。

1 各部門の活動報告

- (1) 第39回山口県高等学校総合文化祭総合開会式慶祝演奏
期 日 6月15日(木)
内 容 山口県高等学校管弦楽団との合同演奏
曲 目 フィンランディア讃歌
“カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」”
出 演 者 山口県高等学校合唱団／9校 217名
会 場 シンフォニア岩国



合同演奏の様子

- (2) 第39回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会
期 日 6月16日(金)、17日(土)
会 場 シンフォニア岩国
出 演 者 合唱部門5校 113名



4部門発表会の様子①



4部門発表会の様子②

- (3) 第41回全国高等学校総合文化祭宮城大会

期 日 8月4日(金)
会 場 東京エレクトロンホール宮城(宮城県仙台市)
参 加 校 山口県代表／山口県立山口中央高等学校

- (4) 山口県高等学校合唱講習会

期 日 平成29年5月27日(土)
講 師 橋本 靜一(ヴォイストレーナー)
内 容 総合開会式慶祝演奏に向けての演奏技術向上のための講習会
場 所 ときわ湖水ホール大展示ホール
参 加 者 7校 205名

- (5) 平成29年度山口県高等学校文化連盟合唱部会及び研修会

期 日 平成29年12月1日(金)
場 所 萩光塩学院体育館2階会議室
出席者 部長以下6名
議 題 県総文、全総文、高文連表彰などについて

2 山口県高等学校総合文化祭の記録

会場:シンフォニア岩国

平成29年度第39回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、6月15日(木)「シンフォニア岩国」にて盛大に開催されました。例年のように、器楽・管弦楽部門と合唱部門と合同で慶祝演奏に参加しました。オーケストラと共に、9校217名の大合唱は、広い会場に美しく響き渡りました。生徒たちの熱い気持ちの入った、高校生らしいさわやかな歌声は、満員の聴衆の方々にも深い感銘を与えたことと

思います。日頃小人数で部活動をしている生徒が多いいため、他校との合同合唱は勿論のこと、オーケストラとの共演はとても貴重な体験になりました。

また、翌日からの音楽4部門の発表は、6月16日(金)、17日(土)の2日間、高校生の気迫あふれる演奏が続きました。今年度の合唱部門出演校は、5校113名と例年より少ない参加となりましたが、各校の特徴を生かしたプログラムで、美しく柔らかい歌声が響き渡り、個性あふれる演奏を披露しました。

近年、部員確保が難しく、活動を休止している学校もあり、参加校の減少が問題でした。しかし、2年前より徐々に部員が増え、現在は200名を超える部員数となってきました。今後も生徒数の減少や指導者不足等の問題はありますが、この総合文化祭を契機に各校の生徒同士が切磋琢磨して、より質の高い音楽を奏でられるように願っています。来年度の「周南市文化会館」でも、素晴らしい演奏を期待しています。

3 全国高等学校総合文化祭の記録

山口県立山口中央高等学校合唱部

顧問 清水 貴子

山口中央高校合唱部は、今年度の全国総文合唱部門に参加させていただきました。わずか17人の女声合唱ですが、山口県代表として見ごたえのあるステージを披露したいと選曲から練習まで、部員一丸となって取り組みました。山口の合唱団が初演された信長貴富「なみだうた」、

金子みすゞの「おさかな」、そして最後は、「ジョイフルジョイフル」で賑やかにと、8分間に一杯の思いを詰め込みました。新幹線を乗り継いで列島縦断仙台への旅は、暑さの中、行きも帰りも一日がかりでハードでした。しかし、会場となった「東京エレクトロンホール宮城」は、杜の都仙台を代表するケヤキ並木の定禅寺通に面した素敵なホールで、歌声を温かく響かせ、包み込んでくれるようでした。歌い終わった後の部員たちの高揚した笑顔に、参加させていただいて本当に良かったと感動しました。

前日の交流会も、宮城県の高校生の工夫された全員参加型プログラムで、日頃はシャイな本校生徒も、笑顔で他校生と交流しておりました。また、合唱部門の閉会式も素晴らしかったです。来年度、再来年度担当県の高校生のアピールも楽しく、最後の全員合唱「明日のために」も、ステージで歌うオール宮城の高校生と客席が一体化した、素晴らしい歌声でした。

今回の参加を通して、全国大会の経験が子供たちを成長させることを、改めて実感させていただきました。ありがとうございました。練習会場が見つからず、仙台駅前のカラオケ店で全力練習したこと、よい思い出です。

4 その他

全日本合唱コンクール中国合唱コンクールにおいて、野田学園高等学合唱部が金賞を受賞し、全国大会へ出場しました。昨年度は2校が全国大会へ出場しており、これで6年連続山口県勢が全国大会へと出場しています。



山口中央高等学校合唱部

各部門の報告

吹奏楽部門

理事長 中村亮
(光高等学校教諭)

1 平成29年度の吹奏楽専門部の活動報告

(1) 第39回山口県高等学校総合文化祭総合開会式典においての慶祝演奏

開催日 平成29年6月15日(木)

会場 岩国市 シンフォニア岩国

参加演奏 岩国市内高等学校吹奏楽団

演奏曲目 アルメニアン・ダンス パートI

指揮 佐々木真一(岩国高等学校)



総合開会式 慶祝演奏 岩国市内高等学校吹奏楽団

(2) 第39回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会・第68回山口県高等学校連合音楽会

開催日 平成29年6月16日(金)、17日(土)

会場 岩国市 シンフォニア岩国

参加演奏 51団体 1,600余名

(3) 第41回全国高等学校総合文化祭

開催日 平成29年8月3日(木)、4日(金)

会場 宮城県多賀城市 多賀城市文化センター

参加演奏 山口県立防府商工高等学校

(1日目 プログラム23番)

演奏曲目 アルセナール

「シバの女王ベルキス」バレエ原典版 第3幕、第7幕より

指揮 藤本 博途(防府商工高等学校吹奏楽部顧問)

(4) 吹奏楽専門部総会・研修会

開催日 平成29年12月5日(火)

会場 山口県立光高等学校会議室・音楽室

参加人数 40名

講師 福田亨先生(Osaka Shion Wind Orchestra Saxophone奏者)

2 山口県高等学校総合文化祭の記録

平成29年度第39回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、6月15日(木)に岩国市のシンフォニア岩国で開催されました。開会式典での慶祝演奏には、岩国高校、岩国総合高校、岩国工業高校、高森高校、高水高校、総勢100名を越える生徒が本専門部を代表して参加いたしました。本番では、岩国高等学校の佐々木真一先生の指揮により、吹奏楽オリジナル曲の中でも「名曲」と名高い「アルメニアン・ダンス パートI」を演奏いたしました。生徒たちの豊かな感性から生まれ出る場面ごとの描写が見事であり、聴きごたえのある演奏でした。

また、6月16日(金)と17日(土)には、同会場において音楽4部門発表会を開催いたしました。この2日間で、51団体、1,600余名が日頃の練習の成果を発揮し、立派な演奏を披露いたしました。

この発表会を通して、同じ意識を持つ多くの仲間の存在に気づくとともに、新たな音楽の表現を創造する意識が高まることを期待しています。

3 全国高等学校総合文化祭吹奏楽専門部参加報告

山口県立防府商工高等学校吹奏楽部

音楽監督 藤本 博途

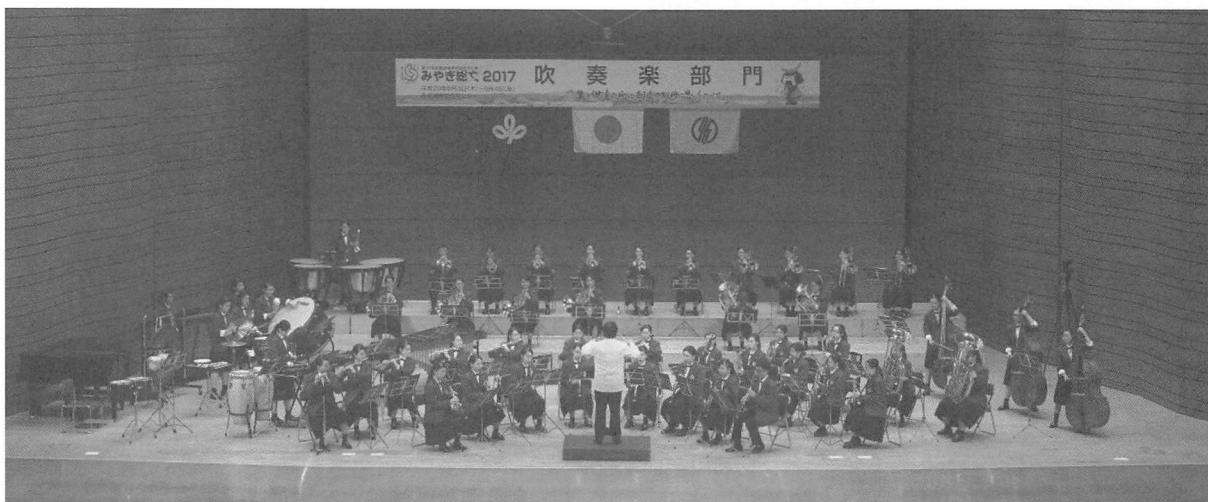
生徒も私も全員が初めて来た宮城県は、連続降雨36日間という日本新記録を作っている真っ最中だった。仙台駅は七夕の短冊で飾られ、伊達正宗の地らしくあちらこちらで伊達という文字を見た。仙台駅にある有名な牛タン屋にももちろん行った。こんなに厚くて柔らかい牛タンはここでしか味わえないのだろう。

防府商工一行53名(生徒50 引率3)は、8月2日(水)に山口宇部空港から羽田空港へ、東京で1泊した翌日、東北新幹線で仙台まで行き、そこからはバスでの移動となつ

た。3日の午前中は仙台市若林区文化センターで練習をし、午後の本番に臨んだ。2日間の開催期間のうち、1日目の出演を希望した。コンクール中学校の部に間に合うよう帰らねばならないからだ。実施要項を見てみると、1日目の出演団体数は25、2日目は17だった。すべての団体の希望を聞いていただいたものと感謝した。余談であるが、本校はチェレスタを使用する曲を演奏する予定だった。共通使用楽器の中にチェレスタは含まれていない。このチェレスタは他団体から借用させていただいているので、仙台まで運んで不測の事態が起こったら大変である。そこでダメもとで大会事務局長に相談してみると、事務局長校のチェレスタを貸して下さることになった。東北の方のなんと心優しいことか！大変お世話になりました。本校の演奏順は1日目の25団体中23番だった。本番前に他団体の演奏を生徒に聴かせようとしたが、客席はまさかの超満員で、生徒は誰も演奏を聴くことはできなかった。今回の遠征で唯一残念な点である。全国大会なのでもう少しキャバが大きい方が良いのではないかと思った。本校の演奏は予定どおりの出来栄えで、コンクール県大会の熱をそのまま演奏で表すことができたと思う。全国大会の舞台で演奏でき

たことは生徒にとって自信につながりさらなる向上を目指すきっかけになったと思う。全団体終了時刻が18時近いという、運営側にとっては極めて苦しいスケジュールだったが、ほぼ時間通りに進行していく、教員や補助員生徒のスタッフのみなさんの努力に心から敬意を払う。そう遠くないうちに山口県で2度目の全国総文が開催されるだろう。その時今回の宮城県のような素晴らしい仕事ができるだろうか。若い先生方に期待したい。

さて、その夜は仙台市内の秋保(あきう)温泉に宿泊した。入浴後は生徒たちは皆浴衣を着てホテル館内に散らばっていた。普段の制服姿ではない少し大人びた生徒たちを見ながら、この子たちがいずれ母親となり自分の子に音楽の素晴らしさを伝えていくことを願った。しかしまずそのためには我々が生徒にしてやらなくてはいけないことと、してはいけないことがあるということを肝に銘じなくてはならない。「勝つ」ための音楽ではなく「感動のある」音楽を子々孫々伝えていくことが我々音楽指導者の責務だ。浴衣姿ではにかみながら私の前を通り過ぎていく生徒たちを見ながら、防府に帰ったらまた生徒たちと一緒に音楽づくりを楽しもうと思った。



防府商工高等学校吹奏楽部

各部門の報告

器楽・管弦楽部門

理事長 秋 本 隆

(下関南高等学校教諭)

1 第39回山口県高等学校総合文化祭総合開会式における合唱部門との合同による慶祝演奏

期 日:平成29年6月15日(木)

会 場:シンフォニア岩国

演奏曲目:佐藤 真作曲 カンタータ《土の歌》より“大地讃頌”

シベリウス作曲 交響詩《フィンランディア》

村井 邦彦作曲 《翼をください》

指 挥:即席 湖文

演 奏:山口県高等学校管弦楽団・合唱団

ルは全国的に見ても、非常に高いものであり、次年度以降もますます発展していくことと期待しています。

6 全国高等学校総合文化祭の記録

山口県立山口中央高等学校オーケストラ部

3年 中村 美智

私たち山口県立山口中央高等学校オーケストラ部は、「みやぎ総文 2017」に山口県代表として参加させていただきました。私たちはこの大会に向かって、「Heart of Harmony」の言葉を胸に自分たちの音楽を届けるために、練習に励んできました。今回演奏した『組曲「道化師」』と『レ・ミゼラブルメドレー』はどちらもこの大会に向けて長い期間練習を重ねてきたものです。私たちは、どの曲よりも練習を重ね、様々な舞台で演奏してきたこれからの曲を全国の舞台で演奏できることへの感謝と喜びでいっぱいでした。その反面、現部員にとって初めてとなる全国大会であったため、山口県の代表であるというプレッシャーや大きな舞台に立つという不安もありました。しかし、演奏が終わった後は、自分たちの音楽を届くことができたということに喜びと達成感を感じました。また、全国の高校生のレベルの高い演奏を聴き、良い刺激をもらうと同時に私たちのこれから改善していくべき課題を見つけることができました。この全国大会は私たちにとって貴重な体験であり、これまでの練習の集大成でした。そしてこのような素敵な舞台で素敵なか仲間と共に演奏ができたということを誇りに思います。

最後になりますが、この大会出場において顧問の西村先生、今津先生、鈴木先生をはじめとした様々な方からの御指導やお力添えを頂きました。この場をお借りして部員一同心より感謝申し上げます。そしてこれからもよりレベルの高い音楽を目指し、精進して参ります。



山口中央高等学校オーケストラ部

2 第39回山口県高等学校総合文化祭音楽関係4部門発表会

期 日:平成29年6月16日(金)、17日(土)

会 場:シンフォニア岩国

演奏種目:オーケストラ、弦楽合奏、ギター・マンドリン合奏の演奏

参加人数:6校/312名

3 第41回全国高等学校総合文化祭(みやぎ総文2017)

期 日:平成29年8月1日(火)、2日(水)

会 場:宮城県岩沼市 岩沼市民会館

参 加 校:山口県立山口中央高等学校

演奏曲目:D. カバレフスキイ作曲/組曲「道化師」より

C. M. シーンベルグ作曲/レ・ミゼラブル セレクション

4 平成29年度山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部会

期 日:平成29年12月4日(月)

場 所:下関南高校会議室

議 題:第37回器楽・管弦楽スプリングコンサート(山口大会)について,

県総文、全国総文、高文連表彰、など

5 第37回山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽スプリングコンサート

期 日:平成30年3月27日(火)

会 場:山口市民会館

主 管 校:山口県立山口高等学校

演奏団体:部門所属7校によるギター・マンドリン・弦楽合奏・管弦楽の演奏

今年度の全国総合文化祭(みやぎ総文2017)においても、本県代表の山口中央高校オーケストラ部が素晴らしい演奏を披露いたしました。本県の器楽・管弦楽部門のレベ

各部門の報告

日本音楽部門

理事長 平田直子

(野田学園高等学校教諭)

1 平成29年度日本音楽部門の活動報告

今年度の日本音楽部門の活動は6月15日(木)、総合開会式(シンフォニア岩国)での高水高等学校長唄三味線部の慶祝演奏で幕を開けました。6月17日(土)には徳山高等学校の主管により山口県高等学校総合文化祭日本音楽部門発表大会(周南市文化会館)が開催されました。全国高等学校総合文化祭では日本音楽と郷土芸能は別部門となっていますが、山口県の日本音楽部門は箏曲、三味線、和太鼓、郷土芸能と多彩な内容です。参加生徒は緊張しながらも立派に日ごろの練習成果を披露し、また普段は触れることのない他ジャンルの演奏に感銘を受け、大変有意義な一日を過ごしました。

第41回全国高等学校総合文化祭「みやぎ総文祭2017」の日本音楽部門は7月31日(月)~8月1日(火)に多賀城市文化センターで行われ、県の代表として徳山高等学校邦楽部が演奏しました。次年度の長野大会には下関南高等学校が参加する予定です。



2 平成29年度山口県高等学校総合文化祭を終えて

徳山高等学校(主管校)

邦楽部顧問 宮本睦美

6月17日(土)、周南市文化会館 大ホールにおいて、第39回山口県高等学校総合文化祭日本音楽部門発表大会が、箏曲13校、和太鼓2校、長唄三味線1校、郷土芸能1校、全17校(出演生徒158名)の参加で盛大に行われました。

各学校、この日の舞台を目標に日々の練習を重ね、それぞれの演奏に磨きをかけて臨みました。演奏曲も、古典の代表曲からポップス、現代曲また、学校オリジナルの創

作演目まで幅広く、様々な演奏方法を駆使して日本音楽の魅力を伝えていました。午前の部の最後には、10校、計20名の生徒による合同演奏がありました。演目は、八橋検校作曲の「六段の調」で、40分程度の合わせ練習の後の本番でしたが、演奏者の気持ちが1つにまとまり、心地よい音色がホール中に響き渡りました。

日頃、他校の演奏を聞く機会がほとんどない参加生徒達にとって、この大会は、他校の優れた演奏に触れ、自分達の練習内容を振り返り、互いに切磋琢磨を重ねるまたとない機会になっています。下級生にとっては、「来年は、今年よりもよい演奏を。」と自分自身に誓いを立てる一日でもあります。また、生徒達は今まで自分が触れたことのない和楽器、— 箏、和太鼓、三味線 — の演奏を間近で鑑賞することによって、日本音楽の奥深さに触れる貴重な体験ができる大会です。

講評をいただいた中村芳喜先生は、そのお話の中で、周南市文化会館のホールが日本でも屈指の「音がよく鳴る」ホールであること、それぞれのホールの特色に合わせて演奏方法やマイクの使用などの工夫が必要であることを丁寧に説明して下さい、生徒達の今後の練習に対する課題も提示していただきました。また、参加校の多くが地域の外部講師の方々の熱心な指導を受けていることにも触れられ、自分達の演奏を支えてくれている周囲の人達への感謝の気持ちを持って、練習に臨むことの大切さも語っていただきました。参加生徒のみならず、顧問教員にとっても実りのある充実した日となりました。



3 第41回全国高等学校総合文化祭(みやぎ総文)日本音楽部門に参加して

山口県立徳山高等学校邦楽部

部長 2年 藤井萌

全国高等学校総合文化祭への出場の切符をもらった時、大舞台で演奏できるという二度とない機会に喜びを感じ

じつも、県大会を勝ち抜いて出場する高い演奏技術を持った他県の高校生達と同じ舞台で私達が演奏することに戸惑いもありました。

昨年の秋からこの大会に向けて演奏曲に取り組み始めました。私達部員は全員、高校に入學して初めて琴の演奏を経験した者ばかりで、まだ演奏技術が未熟な私達にとって、全国大会で演奏する曲は難易度が高く、大会本番までに曲を完成させることができるのが不安でした。曲のテンポが速いため、最初は全員で呼吸を合わせ、一つ一つの音を繋げて弾いていくことがとても困難でした。しかし、練習を積み重ねていくうちに、部員の意識が一つにまとまっていく手応えを実感できました。講師の先生にはただ譜面通りに弾くのではなく、強弱やテンポの変化で曲に表情を付けることを何度も繰り返し指導していただきました。大会が近づくにつれ、全員の気持ちが一つの目標に向かってまとまり、お互いの音が響き合って一つの作品を作り上げていると感じられて、少しずつ自信を持つことができました。

本番では、他の出場校の演奏内容は想像以上にすば

らしく、圧倒されました。演奏することに対する姿勢や、曲に込める思いがひしひしと伝わってきました。全国大会の大舞台で演奏するという貴重な経験ができたおかげで部活動や演奏に対する意識も変わり、精神的にも成長できましたと思っています。このような機会を与えてもらったこと、そして応援してくださった方々に感謝しつつ、自分達の演奏の良さを大切にし、これからも日々挑戦を続けていくつもりです。



みやぎ総文2017 マスコットキャラクター“むすび丸”



徳山高等学校邦楽部

各部門の報告

マーチングバンド・バトントワリング部門

理事長 中村亮

(光高等学校教諭)

1 第39回山口県高等学校総合文化祭総合開会式式典においての慶祝演奏

平成29年6月15日(木)に、岩国市のシンフォニア岩国で開催された総合開会式での式典慶祝演奏に、部門を代表して山口県立岩国商業高等学校が出演いたしました。本番では、顧問の即席湖文先生の指揮で、「ユーロビートディズニーメドレー」を演奏し、演奏に合わせ息の合った演技を披露いたしました。



総合開会式 慶祝演奏①



総合開会式 慶祝演奏②

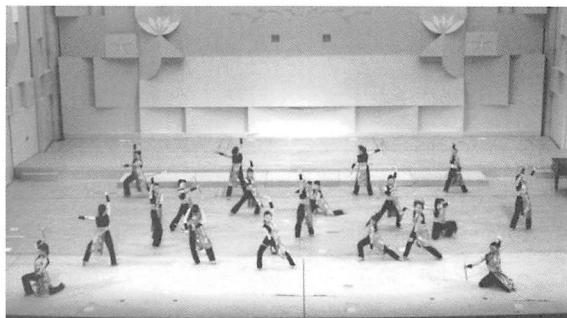


総合開会式 慶祝演奏③

2 第39回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

平成29年6月16日(金)・17日(土)に、岩国市のシンフォニア岩国で開催された音楽4部門発表会に、宇部市の慶進高等学校が参加いたしました。

慶進高等学校は「RISING」「You Can't Stop The Beat」というティストの違うそれぞれの曲に合わせ、20人が華麗で息の合った演技を披露いたしました。



慶進高等学校の演技①



慶進高等学校の演技②

3 第41回全国高等学校総合文化祭

平成29年8月2日(水)に宮城県仙台市の宮城野体育馆で開催されました。今年度も本県内の他の行事と日程が近いことや、自校の行事との関係で参加は困難でした。

4 マーチングバンド・バトントワリング部門研修会

開催日 平成30年3月23日(金)

会場 山口県立長府高等学校 体育館他

講師 金替諭先生(マーチングバークション奏者・ヤマハミュージックジャパン講師)

内容 マーチング基礎及びステージドリルレッスン
(教材曲:レ・ミゼラブル)

マーチングバンド・バトントワリングを実施する学校は年々減少しておりますが、定期的な研修会を実施することで県内の同部門活性化の一助となればと考え、今年度より研修会を再開いたしました。

各部門の報告

美術・工芸部門

理事長 濱崎洋

(徳山高等学校教諭)

平成29年度美術・工芸部門の活動について報告いたします。

1 第39回山口県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門

11月17日から19日まで山口市民会館展示ホールで開催されました。美術・工芸部門には県内35校より123点の出品がありました。内訳は平面117点、立体4点、映像2点です。レベルの高い大作が多く、平面では約8割の作品が50号やB1の出品規定最大のサイズでした。審査では26点が優秀賞に選ばれ、その中から6点が来年度の全国高等学校総合文化祭(2018信州総文祭)の出品候補作品に選ばれました。講評会では5名の各審査員が「美術作品に大切なものは何なのか」を問いかけながら、それぞれの作品の良さや表現方法などについて話をされました。生徒たちは互いの作品を鑑賞し合うことで美術表現についての視野を広げることができ、今後の表現活動のよい原動力となりました。

優秀賞(全国高総文祭出品候補作品)

学校名	氏名	学年	題名	大きさ	種別
岩国総合高等学校	久保千優	2	愛すべき未来へ	F50 縦	絵画
徳山高等学校	前田智咲	2	影の来訪者	F50 縦	絵画
防府西高等学校	古河龍衣	2	模倣犯	B1 縦	絵画
下関商業高等学校	植野愛美	2	食物連鎖	F50 縦	絵画
野田学園高等学校	前田晴菜	2	関門海峡 花火大会	縦77cm×横109cm	絵画
サビエル高等学校	藤本恭子	2	進んで行く	F50 横	絵画

優秀賞

学校名	氏名	学年	題名	大きさ	種別
岩国高等学校	奥田彩夕	2	メタフィッシュ	80cm×60cm×高180cm	彫刻
岩国高等学校	中野春来	2	過不足	B1 横	デザイン
岩国総合高等学校	浅田絵理奈	2	幸せという名のタルト	F50 横	絵画
岩国総合高等学校	神村采花	3	終わりなき世界	B1 縦	デザイン
光丘高等学校	藤井未歩	2	JKの主食	B1 縦	デザイン
光丘高等学校	堀尾寧々	2	自己打開	80cm×80cm×高40cm	彫刻
下松高等学校	左海莉子	2	刻(こぐ)	B1 縦	デザイン
徳山高等学校	松原京	2	閑麗開花	F50 縦	絵画
徳山高等学校	青木寧音	1	導くわたしと動きだす歯車	F50 縦	絵画
山口高等学校	吉岡幸音	3	ほかほか	F50 縦	絵画
山口高等学校	佐藤光	2	いつものみち	F40 横	絵画
山口中央高等学校	山縣知世	2	心廻停止	B1 縦	デザイン
宇部商業高等学校	中西香純	2	記憶	B1 縦	デザイン
田部高等学校	末永歩	3	悲憤亡者の葛藤	B2 横	絵画
下関南高等学校	一瀬更紗	1	我が故郷	F50 横	絵画
下関南高等学校	富賀見日奈子	2	しまっておいた何か	F50 横	絵画
下関南高等学校	小野妙歌子	2	seventeen	F50 縦	絵画
大津緑洋高等学校	福浦瞳	1	アイスを頬張る三人	F50 横	絵画
下関中等教育学校	大庭輝良々	2	覚悟	F50 縦	絵画
サビエル高等学校	松本沙咲	2	日本	B1 横	絵画



県総文講評会の様子

2 第41回全国高等学校総合文化祭(みやぎ総文2017)美術・工芸部門

7月31日(月)～8月4日(金)の5日間、全国の都道府県で選ばれた絵画、彫刻、デザイン、版画、工芸、映像等402点の優秀作品が、宮城県美術館(仙台市)に展示されました。その中にあって、本県から出品した作品6点はそれぞれに作者の思いや気持ちが込められた完成度の高い作品として全国にアピールしていました。全国のレベルの高い作品を鑑賞した本県6名の生徒も大きな刺激を受け、美術文化活動への関心を深め、今後の表現力を高める原動力にもなったことだと思います。なお、この大会では優劣をつける審査等は実施していません。全員に「文化連盟賞」の賞状が授与されました。

部門開会式、講演・講評会は美術館からほど近い仙台国際センターの大ホールで行われました。オープニング映像では、生徒による黒板アートを使った宮城県の名所を紹介する作品が上映され、その後の開会式では全国高文連美術・工芸の澄川利之会長から、「生徒のみなさんは日々試行錯誤を繰り返しながら美術・工芸に係る創作活動に取り組み、様々な力を育んでいることと思う。この力が将来は『より良く生きる力』となり、また『生涯にわたって学び続ける力』となると思う。『継承する心』『共感する心』『表現する心』を大切にする本大会において、作品について語り、宮城を感じ合うことで、ひとり一人の持つ創造性をさらに高め『突き抜けた創造性』を培うことと思う。」という内容のあいさつがありました。

講演会・講評会では漫画家の荒木飛呂彦先生をお迎えして、「なぜ、絵を描くのか」という演題でお話をいただきました。「子供の頃は、自分でしか描けないものをめざしていた」、「描き続けていると、絵が教えてくれる」、「描き続けて、何かを得ながら、発展していくものなのだ」、「これからも描きながら学んでいってほしい」という言葉が印象的でした。講評会ではご自身が選んだ20作品について講評されました。まず、この展覧会は大変レベルが高いことに驚いたこと、こんなすごいことをする高校生がいてうれしいということ、20作品を選ぶのに6～7時間かかったが、選んだ基準は、身近に置いておきたいということであることを最初に言われて、その後1枚1枚講評が行われました。岩国高校の中村桃子さんの「憧れの都会」が選ばれ、高評価を得ました。

交流会は各都道府県の参加生徒がランダムに8人の班に分けられ、その班ごとに「交流会 A」「交流会 B」それぞれのメニューが行われました。参加者は全国展出品生徒約440名と、宮城県運営スタッフ生徒150名。「交流会 A」で

は、「作者の願いや想いを交流しよう」ということで、全国作品展を班ごとにスタッフ生徒のナビゲーターを中心に対話式で鑑賞するギャラリートーク。「交流会 B」では、「仙台七夕伝統の七つ飾り制作に挑戦」ということで、小さな七つ飾りを各自作成して持ち帰るというワークショップをおこないました。



山口県代表作品展示風景



全国交流会の様子

以下、参加した生徒のみなさんより感想をいただいているます。

山口県立岩国高等学校 3年 中村 桃子 題名「憧れの都会」

今回、みやぎ総文に参加できたことで、たくさんのことが吸収して来れたと思います。色々な感性によって描かれた絵画やデザイン、初めて見ることが多かった工芸作品に感じた技術の高さ、交流会で知ることができた作者の作品に対する熱い思い。そういうこと全てを、これから制作に活かしていきたいと強く思いました。



山口県立徳山高等学校 3年 瀬山 華子 題名「飛ぶものたち」

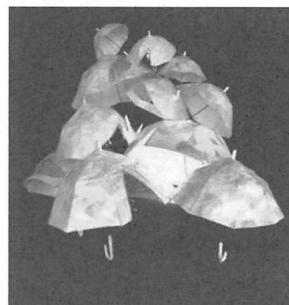
全国から集まった素晴らしい作品の数々を、間近で見る

ことができて感動しました。交流会では、作品に込められた思いや面白いエピソードなどが聞けたり、同じ班の人と方言トークで盛り上がったりして、とても楽しかったです。総文での貴重な経験を活かして、これからもいろいろな絵を描いていきたいです。



山口県立下松高等学校 3年 藤井 萌花 題名「雨粒のポケット」

全国の多岐にわたるジャンルの作品を目にし、それらの作品を通して他県の方と交流した時間は、楽しく充実したものでした。またかつて震災のあった宮城という地で、明るく強かに街を盛り上げていく人々の姿には、芸術的なことだけでなく、人としても様々なことを学ばせていただきました。思い出に残る貴重な経験になったのではないかと思います。



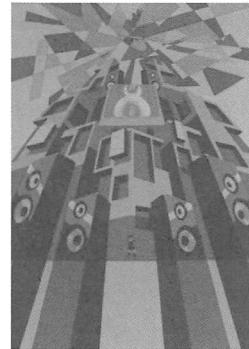
野田学園高等学校 3年 藤川 恵 題名「同じ景色」

今回、全国高等学校総合文化祭に参加し、同年代の高校生達の作品を鑑賞したことは、とても良い刺激になりました。今まで、自分の描く絵は鉛筆や水彩などばかりでとても狭いものでした。油絵やアクリル画、立体作品など、いろいろなジャンルの作品を見て、他の分野にも積極的に挑戦してみようと思える有意義な時間を過ごせました。



山口県立光丘高等学校 3年 伊藤 ロナン 題名「Adolescent Anger Girl」

全国総合文化祭に参加して、自分の視野を広げることができたように思います。私は人見知りなので、全国各地の高校生と交流することに不安もあったのですが、美術・工芸作品を制作する仲間という共通点により、すぐに打ち解けることができました。それぞれの作品に込められた思いや制作意図には、驚きや発見があり、たくさんの刺激を受けました。この貴重な体験を、今後の作品制作に生かしていきたいです。



山口県立下関南高等学校 3年 中丸 果音 題名「迷漂」

みやぎ総文に参加して私が特に印象に残っていることは2日目の交流会です。描いた本人がどんな思いで絵を完成したのかを聞き、それが私の想像と全く違っていたりしておもしろかったです。また、質問することでお互いに理解を深め合えたとも思います。今回のいろいろな体験が私の中の世界を広げてくれたことで、また一つ成長できたと思います。参加することができて本当に良かったです。



3 美術・工芸専門部連絡協議会および研修会

10月10日に徳山高等学校で行いました。協議会では今後の美術・工芸の大会運営や、県総文祭美術・工芸の審査方法について意見交換がなされました。研修会では、全国大会の作品を一点一点スライドで、多様なレベルの高い作品を観ることで今後の指導の参考にしました。また、岩国高等学校美術部の立体作品制作について研究発表がありました。

各部門の報告

書道部門

理事長 河合和子

(下関南高等学校教諭)

1 第39回山口県高等学校総合文化祭 書道部門

10月28日(土)・29日(日)

下関市民会館展示室

今年は県内20校より62点が出品され、厳正な審査により、来年の全総文長野大会への出品候補作品3点を含む優秀賞9点が選ばれました。臨書作品が多く、古典に向き合う中でどう個性を表現するか、とても真摯に努力を重ねた高校生らしさのうかがえるものばかりでした。生徒研修会で学んだ仮名創作の共同作品も灯籠に表装されて展示され、内側からほのかな明かりに照らされて、会場を彩りました。

2日目14時半からの講評会では、審査員を中心に講評をいただきました。緊張の中にも和やかに進められ、参加生徒は明日の部活動への意欲を感じてくれたものと思います。

《優秀賞～第42回全国高等学校総合文化祭 2018信州総文祭 出品候補作品》
山口高等学校 西田朱也子(2年)『臨 楊峴古四種卷』
宇部西高等学校 松下 愛海(2年)『臨 裴將軍詩碑』
下関南高等学校 高橋 空(2年)『臨 伊都内親王頤文』
《優秀賞》

岩国高等学校 (2年) 豊田有希乃
山口高等学校 (2年) 牧 菜々恵
徳山高等学校 (2年) 石丸 奈由
下関西高等学校 2年 安重 百華
長府高等学校 2年 藤本 侑佳
下関南高等学校 2年 中島 和希

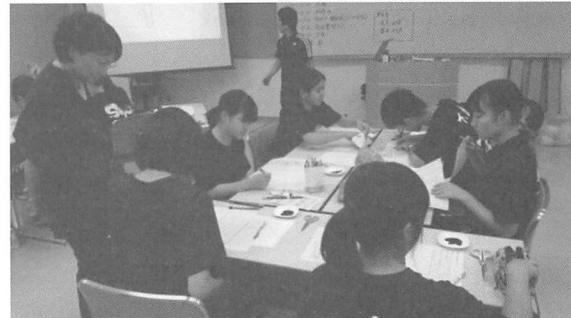
2 第19回高文連書道部会生徒研修会

9月16日(土)

山口県セミナーパーク

今年度の生徒研修会は、台風18号の接近により、1日のみでの開催となりました。研修の内容は、午前中に総合文化祭出品作の練習を行い、午後からは県総文で展示する共同作品の制作を行いました。今回の共同作品は、四季の俳句を「かなの散らし書き」によって表現しました。作品の構想ではグループに分かれ、変体仮名や連綿を生かしながら古筆を集字して構想しました。作品は、生徒

一人一人の感性が光る散らし書きとなり、しっかりと構想した軌跡が伺える力作ばかりとなりました。日頃、他校の生徒と関わることの少ない書道部ですが、研修の中で同じ志を持つ者同士の絆が生まれたように感じました。来年からもこうした研修の機会を設けたいと思っています。



研修会の様子

3 第41回全国高等学校総合文化祭(宮城大会)

7月28日(火)～8月1日(土)

青葉体育館(仙台市)

本年度の全国高等学校総合文化祭は、宮城県にて、「みやぎ総文2017」の名称で開催されました。山口県からは、県内の総合文化祭で選出された3校が、県代表として出品しました。以下に参加者の感想を付します。

第41回全国高等学校総合文化祭に参加して

山口県立山口高等学校 3年 小野 詩穂未

宮城県で開催された全総文祭に参加して、書道という芸術のすばらしさを改めて感じることができました。全国から集まつた各県の代表作品は本当にどれも魅力的で、良い刺激をうけることができました。自分が書いたものと同じ

古典の臨書を出品した人はたくさんいたのに、書き手のとらえ方や表現の仕方によって様々な世界がそれぞれの作品にあり、おもしろいなと感じるとともに見聞も広がりました。

また、交流会では他県の高校生と色々な話ができました。私がまだ書いたことのない古典の臨書や創作の作品についての話は、とても興味深く、楽しい時間はあつという間に過ぎました。

今回、このような機会をいただき貴重な経験をすることができる心から感謝しています。全国の高校生の作品を見て感じたこと、大きな作品を作り上げて得た力を、これから的作品作りに生かしていきたいと思います。

山口県立下関中等教育学校 6回生 河村 正

私は、仙台市で開催された全国高等学校総合文化祭に参加して、書道の自由さとその魅力を学ぶことができました。特に、全国から出品された作品を鑑賞する中で、創作の作品の、自由で迫力のある表現、臨書の作品の、古典へ忠実であり、その上で個性的である表現から、書道特有の表現の多様さや、そのおもしろさを学ぶことができました。

また、交流会を通して、東日本大震災について考えさせられました。仙台の街の様子からは、復興が着実に進んでいることが伺えて、私も書道という形で、文化的な側面での仙台の復興に貢献することができたことがとても嬉しかったです。今回、書道について多くのことを学び、より書

道への興味が大きくなりました。高校卒業後も、何らかの形で書道に関わりたいと思うきっかけになったので、参加した経験を今後の人生の糧としていきます。

山口県立宇部西高等学校 2年 秋山 未希

私は、”刻された書”である開通褒斜道刻石を臨書するにあたって、線を引くスピードや疎密、文字の大小を意識して制作しました。しかし、全国大会では、他の作品を見て、力強さに圧倒されてしまいました。作品からは、古典の特徴を意識しながら集中して書いていることが伝わってきて、それについて先生がおっしゃったのは、「練習量が違う」ということでした。私は平日1日2時間程度の練習しかできていませんでしたが、強豪校では、土日も練習しているということなので、このようなインパクトのある作品が書けるのだと思いました。

特に印象に残った作品は、滋賀県の福井貴瑛さんの作品です。木簡特有ののびのびとした雰囲気や力強さを、体を使って表現していることがすぐにわかりました。

今回の自身の作品を他の高校の作品と比べてみると、インパクトが全然違うことや用筆などの基本的なところにもまだ不足な点があることに気付きました。今後は、私の課題である体を使って動きのある線を出すことや基本的な筆遣いを大切にすることを意識して練習に励みたいと思います。

本当に良い経験をすることができました。ありがとうございました。



山口県代表生徒

各部門の報告

写真部門

理事長 尾崎勝利

(新南陽高等学校教諭)

平成29年度の山口県高文連写真部門の活動状況について報告いたします。

1 平成29年度第41回全国高等学校総合文化祭(みやぎ総文2017)写真部門

全国高校総文写真部門は全国展・企画展が7月31～8月4日の期間に、仙台市の仙台メディアテークで行われました。各都道府県の代表作品が展示される全国展には、全国高校生の撮影した優れた作品が数多くあり、写真の取り組みに対する意識の高さを感じられ、見応えがあります。

本県からも5点の作品が出品されました。残念ながら全国展での本県作品の入賞はありませんでした。



山口県作品展示風景

2 第39回山口県高等学校総合文化祭展示部門

11月10(金)～12日(日)周南市の新南陽ふれあいセンターにおいて県総文展示部門の作品展示が行われました。今年度はこれまで最多の出品点数となる16校160点の作品の応募がありました。写真部があっても作品提出のない学校があったのは残念ですが、始めて応募された学校や、写真部や美術部に所属していない生徒の作品応募がありました。写真部の数や部員の減少により、各校の年ごとによる部員数の増減により出品数が左右される現状です。部員数や出品数は他県と比較してかなり少ない状況であり、今後の部員数の増加や活動の活性化に課題を残しています。今後は写真部・美術部の垣根を超えた写真

の啓発により、写真部会の活性化ができればと考えています。また例年、審査員としてプロカメラマンである(社)日本写真家協会会員のタカオカ邦彦氏を迎え、プロによる評価・講評を続けています。今年度は審査の結果15点が優秀賞に選ばれ、そのうち5点が来年の全国高校総文信州大会への出品候補作品となりました。最終日の講評会ではタカオカ氏からのていねいな講評があり、参加された生徒・顧問の皆さんも学ぶことが多かったのではないかと思います。

準備・運営に携わってくださった役員の先生方、また補助員の生徒の皆さんに感謝いたします。

3 写真研修会・提出作品の講評会

展示部門の会期最終日に新南陽ふれあいセンターにおいて、タカオカ邦彦氏による写真研修会があり、例年と同様50名あまりの参加がありました。午前中は県総文祭作品の講評会の後、参加生徒が提出した「自宅と学校を除く自分の行動範囲の中で人が写っている作品」を題材とした研修を行いました。作品をスクリーンに投影し、作品に対する本人の説明の後、講師からの講評・アドバイスを受けるという対話重視の研修を体験しました。午後からは、講師の近年の作品をもとにして、人物撮影の研修を行いました。

また、2月には生徒・顧問から提出された作品に対して、タカオカ氏による作品講評がなされる、という形での研修会を行います。

今後も同様な形で研修会を開催し、写真部員の技術向上に役立てたいと考えています。

4 その他の活動

第24回全国高等学校写真選手権大会(写真甲子園2017)の本戦出場校を決める中国ブロック決勝5校に、下松高等学校と新南陽高校が進出し、5校中2校を山口県の高校が占め、山口県の高校生の写真レベルの高さを感じさせました。審査の結果、下松高等学校が見事、中国ブロック代表に選出され、本戦出場を果たし、北海道の本戦では優秀賞を獲得しました。

第39回山口県高等学校総合文化祭 写真部門受賞者一覧

(主催:山口県高等学校文化連盟 山口県 山口県教育委員会 後援:周南市教育委員会)

平成29年11月10日～12日

新南陽ふれあいセンター

優秀賞(全国高等学校総合文化祭出品候補作品)

学校名	氏名	学年	題名
下松高等学校	渕上 萌	2	みつけた
	河村 愛美	2	ぶにぶに
下松工業高等学校	柳 律輝	2	雨の音
新南陽高等学校	藤井 千裕	2	あまのじやく
	原 綾華	2	似たもの同士

優秀賞

学校名	氏名	学年	題名
光丘高等学校	藤山 ほのか	3	思ふ
下松高等学校	石井 そら	2	異世界へのいざない
	田中 紗菜	2	おませさん
	福田 光希	2	決意
	新本 真子	1	漢
下松工業高等学校	徳浪 利紀	3	青の滴
熊毛南高等学校	奥田 未玲華	2	車窓
新南陽高等学校	佐藤 里奈	1	居場所
	末次 萌	1	いつもの場所
	野村 美優	1	スキマ
南陽工業高等学校	進藤 翔平	3	大鯉



みつけた



雨の音



あまのじやく



ぶにぶに



似たもの同士

各部門の報告

放送部門

理事長 馬木 明美

(下松高等学校教諭)

1 第41回全国高等学校総合文化祭(2017みやぎ総文)
は、8月3日と4日、日立システムズホールで行われました。放送部門では、事前に地元のFM局と協力して、全国の放送部に所属する高校生からメッセージを募集し、大会期間中に地元FMラジオで流すなど、新しい試みもありました。

大会では、朗読部門において、光高校の玉野初季さんが、『出口のない海』の、青年と少女の別れの場面を読み、優秀賞を受賞しました。昨年度の番組部門での優秀賞に続く光高校の活躍に山口県選手団も喜びに沸きました。



アナウンスをする高水高校・濱田 卵望さん

出場者・出場校は以下のとおりです。

朗読部門

光高校 玉野 初季 『出口のない海』横山秀夫 (優秀賞受賞)
高水高校 濱田 卵望 『きみの友だち』重松清
徳山高校 井上加奈子 『青い鳥』重松清

アナウンス部門

光高校 六反 咲 「笑顔で奏でるピアニスト」
光高校 長岡阿衣璃 「アートで伝える想い」
山口高校 浦川 真依 「零れ日」

オーディオピクチャー部門

岩国高校 『小さな建物』

ビデオメッセージ部門

光高校 『神舞～千年の夜明け～』
岩国高校 『優しい灯り』

第41回全国高等学校総合文化祭(2017みやぎ総文)放送部門に参加して
光高等学校放送部
2年 玉野 初季

宮城総文は、苦しさと嬉しさを同時に感じることができた大会でした。私は、読みの部門では、朗読部門に参加してきました。一年生だった去年のNHK放送コンテスト県大会で代表となり、同じく秋の総文県大会で最優秀賞に輝き、宮城総文代表になりました。しかし、二年生になった今年のNHK放送コンテストでは、県大会を突破できず、全国大会に進むことができませんでした。Nコン直後は、今までの私の大会の結果は運が良かっただけなのではないかと、自信を喪失していました。

しかし、その時に、先輩や顧問の先生から励ましていただいて、全国総文に気持ちを切り替えることができました。そして、その日からは、私の苦手な感情の表現や、基礎練習を一からやり直しました。

宮城に着いてからも、全国の顧問の先生方に私の読みを聴いていただきて本番に臨みました。読みが終わった後に感じたのは、「私は放送が好きだなあ」ということです。優秀賞の中に自分の名前を見つけた時は、あきらめずに練習を続けて良かったと本当に思いました。

部活動引退まであと1年を切っていますが、引退するまでの日まで、ずっと進化し続けることができるよう、努力を重ねていきたいと思います。



インタビューを受ける光高校・玉野初季さん

2 第39回山口県高等学校総合文化祭第24回放送部大会は11月4日、山口市のニューメディアプラザで行われ

ました。参加人数は、朗読部門38人、アナウンス部門32人、オーディオピクチャーデ部分5校7作品、ビデオメッセージ部門6校8作品、CM部門(宮城大会の特設)3校4作品となりました。今年度は、番組部門への参加数が増え、多様な作品を鑑賞することができました。

この大会で入賞した生徒と番組は、8月に行われる信州総文と1月に山口県で行われる中国大会に出場することになります。

閉会後には、審査員の皆さんが遅くまで会場に残り、出場者個人個人に指導してくださいました。多くの生徒が積極的にアドバイスを求め、貴重な学びの場になりました。

入賞者は以下の通りです。

朗読部門

- 最優秀賞 玉野 初季(光高校)
優秀賞 藤井 綾乃(徳山高校)
未廣 諒子(防府高校)
入賞 神代 奈緒(光高校)
杉田 夏鈴(下松高校)
酒田 優芽(下関西高校)
大谷 アミ(岩国高校)
永井 美樹(下関西高校)
榎谷 紀衣(下関西高校)
水田 光虹(下松高校)
福嶋 祐香(徳山高校)
藤本 里菜(高水高校)
植木あすか(徳山高校)
高橋 未穂(光高校)
橋本 梨紗(下関西高校)

アナウンス部門

- 最優秀賞 長岡阿衣璃(光高校)
優秀賞 児玉 瑞歩(山口高校)
能美 千愛(山口高校)
入賞 浦川 真依(山口高校)
松下 真子(光高校)
重枝凪々葉(徳山高校)
門脇 帆花(熊毛南高校)
藤原 加那(徳山高校)
幡歩 早紀(下松高校)
嶋崎 侑希(下松高校)
西村 萌伽(光高校)
徳光 由唯(徳山高校)
武田麻梨愛(山口農業高校)

田中 透子(徳山高校)

三牧 涼(下松高校)

オーディオピクチャーデ部分

- 最優秀賞 光高校 『乙女の祈り』
入賞 下松高校 『Koma Brothers』
岩国高校 『キッチンのかんな』
山口高校 『ゆだもりじーちゃん!!』
徳山高校 『イキル犬』

ビデオメッセージ部門

- 最優秀賞 光高校 『若いし一頬みじやー』
優秀賞 下松高校 『いかス! 笠戸アイランド★』
入賞 山口高校 『寄り道 welcome』
徳山高校 『私と阿米と親孝行』
熊毛南高校 『変わらない味、変えない心』
岩国高校 『ONAIR』
高水高校 『そらいろのおうち』

CM 部門

- 最優秀賞 下松高校 『ニヤン! 周ニヤン市』



大会の様子

3 アナウンス・朗読研修会は、第1回は6月11日に放送インストラクターの安田知博先生を招いてNHK杯と総文の2つの全国大会のための指導を華陵高校で、第2回は3月に、次年度のNHK杯を目指した講習会とミニコンテストを徳山高校で行いました。

また、今年は、第3回中国地区放送コンテストならびに校内放送活動研究集会が防府市で行われました。この大会は、コンテストのみならず、放送部員の研修・交流の場となるよう企画されています。今年度は、NHK杯全国高校放送コンテストの審査部会長をつとめられ、現在も、『被爆体験を語り継ぐ とわの会』で朗読指導を行うなど、幅広く活動されている長崎県の天野紘先生をお迎えして、代表生徒へ公開指導をしていただきました。生徒のみならず、指導に当たる顧問にもよい研修の場となり、有意義な時間となりました。

各部門の報告

囲碁部門

理事長 真當良洋

(山口高等学校教諭)

<平成29年度の主な活動報告>

1 囲碁研修大会

期日:7月9日(日)

場所:防府商工高等学校

指導:日本棋院プロ棋士 山本賢太郎五段



研修大会・プロ対局風景

『出場者と成績』

〈団体戦〉尾上 裕樹(徳山)	金谷 佑策(徳山)	和田 諒(山口)	3勝3敗30位
----------------	-----------	----------	---------

〈個人戦〉

男子 中村 拓哉(徳山商工)	1勝5敗45位
女子 林 彩香(下関西)	2勝4敗42位



2 第41回全国高等学校総合文化祭囲碁部門

期日:7月31日(月)・8月1日(火)

場所:宮城県白石市「ホワイトキューブ」

第41回全国高等学校総合文化祭囲碁部門は、7月31日(月)・8月1日(火)に宮城県白石市「ホワイトキューブ」で開催され、2日間6局の対戦で、互いの棋力を競い合いました。

大会は、団体戦(男女混成で3名の各県代表チーム)と男女個人戦(各1名の各県代表)で行われます。山口県チームは、前年10月の県総文祭の上位入賞者が代表となって出場しました。対戦は、団体戦・個人戦ともに、勝者同士敗者同士を対戦させてゆき、各対戦相手の勝敗も加味して順位を決める「スイス方式」で行われました。参加した代表生徒はそれぞれに頑張り、また全国の高校生との交流を楽しんだようです。

近年の囲碁人気により、全国的に高校生の実力はかなり上がっており、県勢には厳しい戦いとなりましたが、次年度は是非よりよい結果を残せるよう、さらに精進してほしいと願っています。



全国総文・対局風景(出場者・団体戦・男子個人戦・女子個人戦)

3 第39回山口県高等学校総合文化祭囲碁部門

期 日:10月21日(土)

場 所:防府商工高等学校

第39回山口県高等学校総合文化祭囲碁部門第29回大会は、10月21日(土)に防府商工高校で開催しました。参加校は9校で、38名の生徒が参加しました。

この大会は、全国大会代表と中国大会代表を決める代表決定戦と段級位認定戦とに分かれて行います。代表決定戦には男子14名、女子12名、段級位認定戦には12名の生徒が参加しました。段級位認定戦には3年生の参加も認めていますが、今年度の大会においては3年生の参加はありませんでした。代表決定戦も段級位認定戦も、スイズ方式で4回戦の対局で行います。大会結果は下記のとおりです。

代表決定戦の上位男子3名と女子2名は、来年度、長野県大町市で開催される全国高等学校総合文化祭に出場することになります。全国総文祭では、男女混成3名で山口県チームを組む団体戦と男女各1名の個人戦に出場します。

《大会結果》

団体戦

男子 優勝 山口県立徳山高等学校

女子 優勝 山口県立徳山高等学校

個人戦

男子 優勝 佐藤 弘教(徳 山)

2 位 庄司 一晟(高 森)

3 位 古道 大介(徳 山)

女子 優勝 山下 りさ(徳 山)

2 位 藤井 桜(徳山商工)

3 位 赤尾 侑果(徳 山)



県総文・対局風景

4 第21回中国高等学校囲碁選手権大会

期 日:12月25日(月)・26日(火)

場 所:山口県山口市「健康づくりセンター」

上記要領で行われた中国大会には、男子団体戦には徳山高校・山口高校、女子団体戦には徳山高校・徳山商工高校、男子個人戦には団体戦出場者を除く県内予選の上位8位までの選手、女子個人戦には上位5位までの選手が出席しました。徳山高校は男子団体戦で優勝(3年連続)し、3月に大阪府で行われる全国選抜大会への出場権を獲得しました。

《出場者と成績》

〈団体戦〉

男子	徳山高等学校	5勝0敗1位
	山口高等学校	2勝3敗4位
女子	徳山高等学校	4勝1敗2位
	徳山商工高等学校	1勝4敗5位

〈個人戦〉

男子	庄司 一晟(高 森)	3勝2敗9位
野村 重彬(宇 部)	2勝3敗17位	
伊藤 海輝(宇 部)	2勝3敗23位	
山根康太朗(防府商工)	2勝3敗24位	
角村 瑞(防府商工)	1勝4敗25位	
木原 翔太(高 川)	1勝4敗27位	
前田 徳光(下 関 西)	1勝4敗28位	
繁富 僚(防府商工)	0勝5敗30位	
女子	山根百々香(山 口)	2勝3敗11位
飯田 雪菜(宇部鴻城)	2勝3敗13位	
沼 明香里(下 関 西)	2勝3敗14位	
淺田 菜名(防府商工)	1勝4敗15位	
万波 舞(宇部鴻城)	0勝5敗16位	



中国大会・対局風景

各部門の報告

将棋部門

理事長 弘 中 敏 之

(徳山高等学校教諭)

藤井聰太四段のプロデビュー29連勝、羽生善治永世七冠の誕生と国民栄誉賞受賞など、全国的な将棋ブームが到来しています。また、県内高校出身の徳田拳士君が奨励会三段となり、いよいよ山口県初の専門棋士誕生に迫っています。そして第41回全国高等学校総合文化祭では、徳山高校女子が、団体3位入賞を果たしました。県大会も過去例を見ないほど多数の高校生の皆さんのが参加し熱戦を展開しています。将棋が、成長と友情を育む一助となるように努めています。

1 第39回山口県高校総合文化祭将棋部門

平成29年5月27日(土)・28日(日)

防府市文化福祉会館

男子団体 参加10校24チーム

第1位 徳山高校 A

(増田 真大・梶山 智史・小林 宗生)

第2位 宇部フロンティア大學付属香川高校

(眞野 寛人・奥嶋 悠紀・小山 賞馨・戸部田遙人)

第3位 下松高校 A

(今村 繁希・原 啓人・高杉 洋平)

下松高校 B

(本廣 直規・吉岡龍太郎・竹内 隼輔)

女子団体 参加2校5チーム

第1位 徳山高校 A

(峯重 美佳・新本 真夕・西村 英代)

第2位 徳山高校 B

(高瀬 夏生・山中恵里香・梶原みうな)

男子個人 参加11校91名

第1位 中島 秀幸(慶進2)

第2位 宮崎 雅也(高川2)

第3位 今村 繁希(下松3)

奥嶋 悠紀(宇部フ香川2)

敢闘賞 山根 大(防府商工1)

田村 拓也(徳山2)

女子個人 参加3校12名

第1位 兼重美沙季(徳山3)

第2位 山中恵里香(徳山2)

第3位 高瀬 夏生(徳山2)

2 第41回全国高校総合文化祭将棋部門

平成29年8月3日(木)・4日(金)

宮城県白石市文化体育活動センター

男子団体 徳山高校

(増田 真大・梶山 智史・小林 宗生)

予選リーグ2勝2敗 24位

女子団体 徳山高校

(峯重 美佳・新本 真夕・西村 英代)

予選リーグ4勝0敗 3位で通過

決勝トーナメント準決勝進出 3位入賞



女子団体(徳山高校)

男子個人 中島 秀幸(慶進2)

予選リーグ2勝2敗

宮崎 雅也(高川3)

予選リーグ1勝3敗

女子個人 兼重美沙季(徳山3)

予選リーグ2勝2敗

山中恵里香(徳山2)

予選リーグ1勝3敗





全国総文の対局風景

3 山口県高文連将棋専門部研修会(第22回山口県高等学校将棋新人大会)

平成29年11月5日(日)

防府市文化福祉会館

男子個人 参加12校82名

第1位 中島 秀幸(慶進2)

第2位 眞野 寛人(宇部フ香川2)

第3位 加瀬 卓(慶進2)

梶山 智史(徳山2)

第5位 小林 宗生(徳山2)

奥嶋 悠紀(宇部フ香川2)

女子個人 参加3校8名

第1位 高瀬 夏生(徳山2)

第2位 梶原みうな(徳山2)

第3位 須濱明日未(下松1)

敢闘賞 甲斐 紀成(防府商工2)

森脇 悠斗(防府商工1)

星木新之介(慶進2)

研修会(指導対局、大盤解説)

指導 北村 公一 日本将棋連盟山口支部長

藤井 佳久 山口県名人

4 第16回中国地区高校将棋選手権大会(岡山大会)

平成29年12月16日(土)・17日(日)

岡山県岡山市 ピュアリティーまきび

男子個人 参加32名

眞野 寛人(宇部フ香川2) 3勝2敗

中島 秀幸(慶進2) 3勝2敗

小林 宗生(徳山2) 3勝2敗

梶山 智史(徳山2) 2勝3敗

加瀬 卓(慶進2) 2勝3敗

奥嶋 悠紀(宇部フ香川2) 1勝4敗

女子個人 参加16名

峯重 美佳(徳山2) 3勝2敗

高瀬 夏生(徳山1) 3勝2敗

新本 真夕(徳山2) 3勝2敗

西村 英代(徳山2) 2勝3敗



対局風景

5 第25回全国高文連将棋新人大会

平成29年2月3日(金)～2月4日(土)

東京都渋谷区代々木神園町3-1

国立オリンピック記念青少年総合センター

男子個人

中島 秀幸(慶進1) 予選リーグ2勝2敗

増田 真大(徳山2) 予選リーグ1勝3敗

女子個人

峯重 美佳(徳山2) 予選リーグ5勝0敗

決勝トーナメント 9位

新本 真夕(徳山2) 予選リーグ4勝1敗

決勝トーナメント 17位

高瀬 夏生(徳山1) 予選リーグ3勝2敗

西村 英代(徳山2) 予選リーグ3勝2敗



大会参加者

各部門の報告

小倉百人一首かるた部門

理事長 青 池 のぞみ

(小野田高等学校教諭)

1 部門の活動報告

小倉百人一首かるた部門が発足して5年が経ちました。様々な方々から御指導をいただき、少しづつ組織として前進しています。

平成29年度には、競技かるたが、部や同好会として活動している学校が県内で4校に増え、切磋琢磨しています。

かるた競技は、「畠の上の格闘技」といわれています。静寂と美しい日本語の調べのなかで自己と向き合う高度な集中力と記憶力、相手に勝る瞬発力、そして常に冷静な判断力、長時間の対戦に耐え得る精神力が求められる厳しい競技です。また美しい振る舞いや相手を敬う人間性も必要です。山口県では、かるた協会と協力しながら選手育成をおこなっています。合同練習会や錬成会を実施し、各種大会でも好成績を収めています。山口県選抜チームに対して、平成29年度前期栄光のメダル(文化賞)が授与されました。

かるたに向き合って集中し、日々厳しい稽古に取り組んでいる生徒の顔は、とても熱く輝いています。山口県から、未来の名人・クイーンが育つことを期待しています。



県総文の試合風景

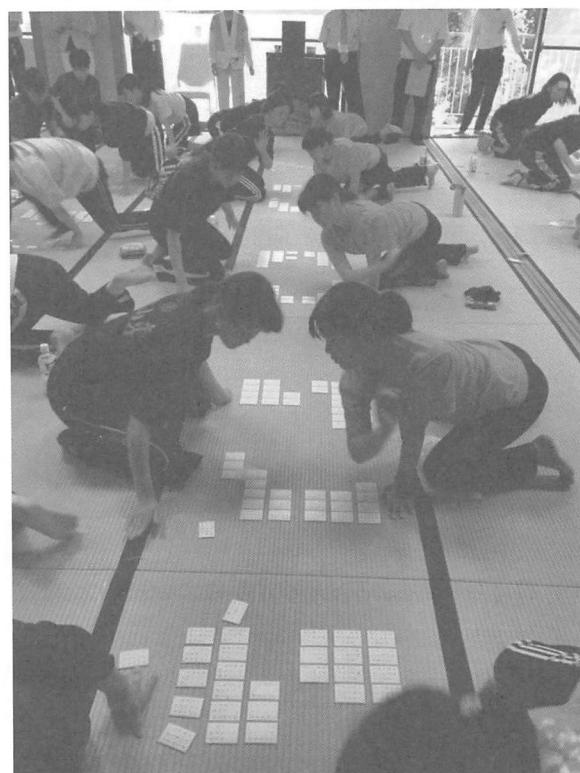
2 第39回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会

滋賀県大津市の近江神宮で毎年開催される、「かるたの甲子園」と呼ばれる伝統と名誉ある大会です。今年は7月22日(土)に団体戦、23日(日)に個人戦が開催されました。

《大会結果》

団体戦 山口県立小野田高等学校 2回戦進出

個人戦 C級 優勝 山口県立小野田高等学校3年 長井 千春
D級 第4位 山口県立小野田高等学校1年 伊藤 紗那



選手権大会風景

3 第41回全国高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門

7月31日(月)～8月2日(水)の3日間、宮城県塩竈市の塩釜ガス体育館において開催されました。山口県は6校合同

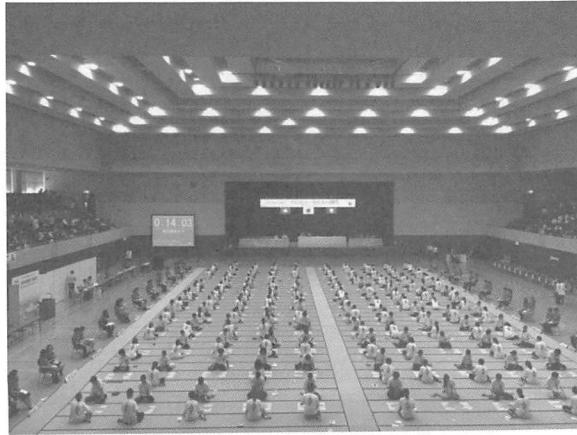
8名での出場となりました。

《大会結果》

団体戦 山口県チーム 予選リーグ 第4位
山口県立小野田高等学校 3年 長谷川千紗
2年 村井 乃枝
2年 武下 茜
山口県立宇部高等学校 2年 中西 環
山口県立宇部商業高等学校 2年 師井 彩夏
山口県立長府高等学校 2年 西田井つばさ
山口県立豊北高等学校 2年 石田 彩夏
慶進高等学校 3年 時吉 彩人



全国総文出場選手



全国総文試合風景

4 第20回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会

10月28日(土)～29日(日)に、山口県山陽小野田市の山陽小野田市民体育館で開催されました。山口県での開催は初めてでしたが、高校生がスタッフとして参加し、大会を成功裏に終えることができました。

《大会結果》

団体戦 山口県 A チーム(小野田高校チーム) 準優勝
山口県 B チーム(合同チーム) 第4位



中国大会試合風景



山口県チーム

各部門の報告

文芸部門

理事長 松永直子

(光丘高等学校教諭)

1 県総文祭総合開会式慶祝展示

全国高等学校文化祭ひろしま大会のパネル写真を展示了しました。また、全国総文祭みやぎ大会の参加作品および県内各高校の文芸誌を展示しました。

2 第20回「俳句甲子園」地方大会(山口大会)

6月11日(日)

防府市地域交流センター

【第1会場】

優勝 山口県立徳山高等学校C
最優秀賞 山口県立徳山高等学校 3年 金谷 佑策
『シャボン玉割れでラブソディ・イン・ブルー』
予規・漱石生誕150年記念賞 山口県立熊毛南高等学校 2年 中岡 未来
『クラス替え色を失うしゃぼん玉』

【第2会場】

優勝 山口県立徳山高等学校A
最優秀賞 山口県立徳山高等学校 3年 鎌田 彩海
『パレードの先頭しゃぼん玉弾く』
予規・漱石生誕150年記念賞 山口県立柳井商工高等学校 2年 桑江 優依
『陽炎や走る車を浮かしたる』

3 第20回全国高等学校俳句選手権大会 俳句甲子園(全国大会)

平成29年8月19(土)20日(日)
松山市大街道、コミュニティセンター
優秀賞 山口県立徳山高等学校 A 3年 金谷 佑策
『桃冷すたゆたゆと自転している』
入選 山口県立西京高等学校 3年 篠原 礼奈
『われはわれらしくあれ百合群生す』

4 全国高等学校総合文化祭

8月2日(水)~4日(金)
宮城県仙台国際センター
○散文部門 宇部高校 松井 裕規 ○詩部門 柳井商工高校 小丸 七星
○短歌部門 徳山高校 芳岡 未那 ○俳句部門 徳山高校 鎌田 彩海
○文芸誌部門 徳山高校 西村 陽菜 以上5名出場

5 第15回山口県高等学校文芸コンクール

作品募集 平成29年7月19日(水)~8月23日(水) 選考決定 10/11(金)
今年度の県コンクールは17校115名165作品の応募があり、来年度の全国総合文化祭の出場者が決定しました。
コンクール結果は別表のとおりです。

第15回山口県高等学校文芸コンクール受賞者一覧

部門	成績	学校名	題名	学年	氏名	備考
散文	最優秀	山口県立下松高等学校	残照	3	弘中陸大	
	優秀	山口県立防府西高等学校	レンズ越しの春色。	3	嶋谷千尋	
	優秀	山口県立徳山高等学校	父	2	大橋恵	全国総文
	優秀	山口県立宇部高等学校	空へ	2	松井裕規	
	優秀	山口県立防府西高等学校	因果応報	3	松永実優	
詩	最優秀	山口県立徳山高等学校	残響	3	仲保麻子	
	優秀	山口県立徳山高等学校	わすれもの	3	鎌田彩海	
	優秀	山口県立徳山高等学校	髪洗う	3	芳岡未那	
	優秀	山口県立下関西高等学校	虫かご	2	有村友佑	全国総文
短歌	最優秀	山口県立徳山高等学校	木犀の	2	西村陽菜	
	優秀	山口県立徳山高等学校	嘘つきの	3	鎌田彩海	
	優秀	山口県立柳井商工高等学校	たたまれた	2	市原歩海	全国総文
俳句	最優秀	山口県立徳山高等学校	百合活ける	3	鎌田彩海	
	優秀	山口県立徳山高等学校	陽炎や	2	西村陽菜	全国総文
	優秀	山口県立徳山高等学校	カーテンを	3	中原孝太郎	
	優秀	山口県立山口中央高等学校	鯉のぼり	2	河村友里乃	
部誌		山口県立西京高等学校	佳什22			全国総文

6 第19回高校生文芸道場中国ブロック大会(山口大会)開催

11月11日(土)

梅光学院大学



県内15校、県外8校の参加。参加人数110名。

《第19回高校生文芸道場中国ブロック大会文芸コンクール(山口県入賞者)》

散文部門

- 優秀 山口県立下松高等学校 3年 弘中 陸大 『残照』
入選 山口県立防府西高等学校 3年 嶋谷 千尋 『レンズ越しの春色』

詩部門

- 最優秀 山口県立徳山高等学校 3年 仲保 麻子 『残響』
優秀 山口県立徳山高等学校 3年 鎌田 彩海 『わすれもの』
優秀 山口県立徳山高等学校 3年 芳岡 未那 『髪洗う』
入選 山口県立防府高等学校 2年 末廣 謙子 『No more』

短歌部門

- 最優秀 山口県立徳山高等学校 2年 西村 陽菜 『木犀の』
優秀 山口県立柳井商工高等学校 2年 市原 歩海 『たたまれた』
優秀 野田学園高等学校 1年 堀江みなみ 『ラップを』
入選 山口県立徳山高等学校 3年 鎌田 彩海 『嘘つきな』

俳句部門

- 最優秀 山口県立徳山高等学校 3年 鎌田 彩海 『百合活ける』
優秀 山口県立徳山高等学校 2年 西村 陽菜 『陽炎や』
入選 山口県立徳山高等学校 3年 中原孝太郎 『カーテンを』

部誌部門

- 優秀 山口県立西京高等学校 『佳什22』
入選 山口県立徳山高等学校 『猫柳』

7 第32回全国高等学校文芸コンクール

《コンクール結果》

小説

- 優良 山口県立防府高等学校 1年 中島 瑞季 『残響』

文芸評論

- 入選 山口県立徳山高等学校 2年 神足 墓人 『志賀直哉の死生観～『城の崎にて』を中心として～』

詩

- 優良 山口県立防府高等学校 2年 末廣 謙子 『No more』

短歌

- 入選 山口県立柳井商工高等学校 2年 市原 歩海 『微笑むと』

俳句

- 優良 山口県立徳山高等学校 3年 鎌田 彩海 『貯金箱』

- 優良 山口県立徳山高等学校 1年 浅原 佑斗 『飲み干した』

- 入選 山口県立柳井商工高等学校 2年 田中 寿音 『自転車を』



8 メダル栄光

第23回与謝野晶子短歌文学賞文部科学大臣賞 山口県立徳山高等学校 3年 鎌田 彩海

9 文芸専門部研修会

3月24日(土)

山口県立防府商工高等学校

10 全国高等学校総合文化祭みやぎ総文 文芸部門参加報告(抜粋)



散文部門

山口県立宇部高等学校 松井 裕規

散文の部での活動は7、8人のグループ7つに分かれて既存作品を現代的なテーマや現代的なキャラクターが抱える物語にアレンジするというものでした。まず、芥川龍之

介の「羅生門」を「いつ、どこで、だれが…」に分け、それぞれのグループに設けられたテーマに沿って一人ずつ書き直しました。後半の時間では、参加者各自が課題として事前に書いてきた「夏目漱石の『夢十夜』の「一夜」「二夜」「三夜」のいずれかひとつの書き換え」に対して講師の池上冬樹先生に講評をしていただきました。その後、今回のみやぎ総文参加作品への個別の講評もしていただきました。ストーリーの構想を練る場合に「自分の知らない世界を書く」ことがよくあるが、作品世界をより豊かに膨らませていくために必要に応じて「うそをつく勇気」が必要であること。推敲には音読が必要である、と言われたことが私にとって、とても印象深く残っています。さらに小説創作のために読んでおいてほしい本の紹介を交えながら創作のテクニックについていろいろと語ってくださいました。

詩部門

山口県立柳井商工高等学校 小丸 七星

全体交流会の後の部門別交流会・分科会では、講師の和合亮一先生の御指導のもと、四人の班に分かれて詩の創作活動を行った。「詩の寺子屋」ということでワークシートを用いて活動した。途中、ラジオ番組の取材が入り、緊張した場面もあったが、各班の代表者が発表するときに「おお～！」という感嘆の声が上がったり、拍手があつたりして温かい雰囲気で会は進行した。休憩時間には部誌を交換したり、一緒に昼食を取ったり他県の人とも親睦を深めることができた。和合先生のお話はどれも面白く、「書いて書いて自分を作っていくなさい。」など、今後の創作活動に役立つものばかりだった。

短歌部門

山口県立徳山高等学校 芳岡 未那

最初に行われた文学散歩では、短歌部門は「芭蕉コース」を巡った。有名な歌人・西行にまつわる伝説が残る「西行戻しの松」。安土桃山文化が色濃く残る「瑞巌寺」。靈場として有名な「雄島」。透かし橋が架けられている「五大堂」。日常の中では感じられない、古の不思議な空気があった。

翌日に行われた分科会では、六人一班に分かれての活動を行った。第一部は、「福笑い短歌」と「付け句型短歌」を行った。「福笑い短歌」とは、各自が「七夕」で作った、五音と七音の言葉を無作為に選んで一つの歌を作り上げる、という活動だ。作品というのは偶然から生まれることもある、というのを改めて実感した。

次の「付け句型短歌」では、石川啄木の「一握の砂」から「ぢっと手を見る」というフレーズを使い、班で新しい短歌を創作した。第二部では、歌合せを行った。この活動では、まず班の中でどの歌が一番良いか、作者の解説を聞いて判定した。その後、選ばれた歌を使って全体での歌合せを行った。

俳句部門

山口県立徳山高等学校 鎌田 彩海

俳句部門では講師として高野ムツオ先生をお招きし、句会を二回しました。まず、前もって提出していた「夕立」の句会をしました。夕立は夏の季語です。一般的にも知られていて、徳山高校でも句会の題になることがあるので、とても親しみやすい題でした。

次に前日に行っていた宮城での吟行の際に作った句で句会をしました。吟行とは散歩をして外の世界に触れ、俳句や短歌を作ることです。瑞巌寺や松山など、宮城の様々な名所を詠みこんだ句が多くみられました。

句会の終わりに先生から句の講評をいただきました。

他県の高校生とも知り合うことができ、俳句甲子園での再会を約束しました。

文芸部誌部門

山口県立徳山高等学校 西村 陽菜

文学研修では、部誌部門は「うみの杜コース」を巡りました。仙台城址、荒浜小学校跡、仙台うみの杜水族館の順に、宮城の歴史と震災の話を辿りました。仙台城址では城跡を辿ったり、伊達武将隊の演舞を鑑賞したりして、宮城の歴史について学びました。荒浜小学校跡では東日本大震災の影響について話を聞きました。校舎の二階までもが水没したというこの場所の周りには、今となっては民家がありません。町の再現ボードに書かれた『星が綺麗だった』の言葉に、胸を深く抉られました。仙台うみの杜水族館では、東日本大震災の被害を受けたマリンピア松島水族館から、現在の仙台うみの杜水族館へと復興するまでのお話を聞き、その後、海の動物たちとの触れ合いをしました。

部誌分科会では三浦満春さんを講師に、前半と後半に部が分かれ、前半では自校の部誌紹介と他校の部誌を拝読する活動を行いました。後半では班で協力して、即興の部誌づくりを行いました。目次や奥付もその場で制作するという企画でしたが、緊張していた空気もほぐれ、最後には班員で協力出来た今回限りの最高の部誌が完成しました。

各部門の報告

自然科学部門

理事長 大田和子

(宇部高等学校教諭)

山口県は全総文祭みやぎ大会にて4部門で研究発表を行いました。今年度は初参加の3校(徳山高校、柳井高校、萩高校)と常連校の高川学園高校の参加でしたが、そこで、生徒たちの堂々と発表する姿や、生き生きと活動する姿が見られ、この大会が本県での自然科学部にとって、大切な位置付けになってきているを感じています。

会場のある石巻市は仮設住宅が数多く残っており、震災の傷跡が見られるところが数多く見られ、一日も早い復興をと願わずにはいられませんでした。また、偶然ですが、震災後に仙台に転居した高校3年の女子生徒と話すことができ、石巻市にかなりの生徒が市外からこの大会の応援に来ていることや、高校卒業後に不安に思うことなど現状をいろいろ聞かせてもらい、被災地の実態を垣間見ることができました。

記念講演のあった仙台国際センターは青葉城のそばにある大変立派な会場で、総会では全国総文祭ならではの課題が多く出され、活発に議論されました。また東北大大学を中心とする、巡査研修もとても良い経験になったと思います。

山口県は自然科学部の活動はあまり盛んではありませんが、部門立ち上げから7年経ち、少しずつ活動の成果が見え始めてきたように思います。来年度の長野大会にも4部門で参加します。お互いにそれぞれのテーマに向かって、日々研鑽を積んでいきたいと思います。

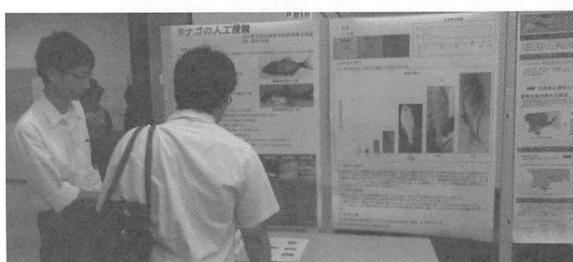
次に今年度全総文祭に参加した各高校のテーマと参加生徒の参加報告と感想を紹介します。

H29年度みやぎ総文祭参加

<ポスター発表>

「タナゴの人工授精」

山口県立徳山高等学校 科学部



<化学部門>

「希硝酸と濃硝酸の境界」

山口県立柳井高等学校 物理科学部



<生物部門>

「雑種オオサンショウウオの生態と器官再生機能について」

高川学園高等学校 科学部

<地学部門>

「震源断層の応力分布の可視化～長門峡の河床露頭について」

山口県立萩高等学校 科学部

高川学園高等学校 科学部

「みやぎ総文2017を終えて」

2年 鎌田 啓佑 城代 玲志 荒地 祐里



私たちはみやぎ総文2017自然科学・生物部門の発表に参加した。去年のひろしま総文に続いて、今回が私たち3人の2回目の総文への参加である。

今回は生徒交流会が最初にあり、早くから他校の生徒との交流を深めることができた。私たちの研究対象であるオオサンショウウオについて話したり、クイズで話し合って

考えたりして楽しい時間を過ごした。

私たちの発表は2日目にあった。今回のテーマは、チュウゴクオオサンショウウオと日本在来オオサンショウウオとの雑種個体についてである。様々な場でこのことについて発表してきたが、今回は繁殖に焦点を置いた。在来個体が孵化してから繁殖可能になるまで約30年かかるのに対し、チュウゴクオオサンショウウオは約30年前に持ち込まれたが、すでに第2～3世代の雑種個体が出現している。このことや、昼間に雑種個体が活発に活動しているということなどから、在来個体が繁殖に参加することができず、最終的には在来遺伝子を持つ個体が絶滅してしまうのではないか、という内容である。発表はそこそことだったものの、質疑応答がうまくできなかつた。的確に質問に答えられるように、そして、自分の答えに自信を持つようにしたい。



巡査研修は、伊豆沼でのフィールドワークであった。宮城まで来て普段調査で着ている胴長を着るとは…。何か複雑な気持ちであった。伊豆沼はラムサール条約で保護されているが、特定外来生物に指定されているブルーギルなどが生息していた。これらは発見次第駆除している。また、観光資源の伊豆沼のハスが増えすぎることで沼に悪影響を及ぼすことを知り、驚いた。

今回の総文でも、他校の発表を聞いて学ばせてもらうことがたくさんあった。一つひとつの言葉をはっきりと発音し、分かりやすく話し、質問に的確に答える—これらのような点に留意し、今後気を付けていきたい。



みやぎ総文に参加して

山口県立萩高等学校 科学部

みやぎ総合文化祭に参加した中で最も印象に残ったことは研究発表です。私たちは、高校1年生から「震源断層の応力分布の可視化」という研究をしてきました。今回その結果をみやぎ総文という大きな舞台で発表し、私たちは強い刺激とこれからの研究につながる課題を得ることができました。科学の研究をする日本中の高校生が一つの場所に集まり、成果を発表する機会はそう多くはありません。そのような貴重な場で私たちは納得のいく発表をすることができました。さらに、質疑応答や他校の研究発表などから新たな発見や測定方法の改良などの様々な課題も見つけることができました。それは、決して自分たちでは見つけられなかつたでしょう。

私たちは、これらの大切な発見や課題、そして研究発表や東北大学工学部での巡査などのみやぎ総文での貴重な体験を生かして、これから研究に励んでいこうと思います。



全国高等学校総合文化祭に参加して

山口県立新南陽高等学校
貞 明 春 歌

高校二年生になったばかりの5月でした。担任の先生から、全国高等学校総合文化祭の総合開会式で県代表の挨拶をしてみないかとお話をいただきました。会場は宮城県。私がこれまで一度も訪れたことのない地でした。私は、すぐに「やってみたいです。」と答えました。

とは言うものの、全国高等学校総合文化祭とはどんなものなのか想像もつきませんでした。家に帰ってすぐ調べてみると、いわゆる文化部に所属している日本全国の高校生たちが集まって交流するというものでした。私が参加するのは初日の総合開会式。その中で、都道府県それぞれの代表生徒が自分の都道府県の魅力を紹介する役でした。山口県の代表という大役にはプレッシャーはあったものの、全国から集まつてくる高校生に会えるということにとても魅力を感じ、参加したいという思いがますます強くなりました。

私にとって初めての宮城県。これを機にいろいろと調べてみました。宮城県は、七夕祭りや仙台城、松島や三陸海岸など、多くの魅力がある県だと知りました。また、2011年に起きた東日本大震災の被災地でもあります。自分の見聞を広めるにも、この機会はとてもありがたいと思いました。

本番前日の7月30日、引率の先生と新幹線に乗り、仙台へと向かいました。到着した仙台駅は大勢の人で賑わい、ちょうど七夕祭りが近かつたため、大きなくす玉が飾られていきました。この時、ついに宮城県に来たのだと実感が湧きました。翌日の開会式を考え、少し気持ちが高ぶりながらも眠りにつきました。

本番当日、朝早く起きて支度をし、会場へ向かいました。控え室で、私以外の46人の代表生徒を見ると、みんな少し硬い表情をしていて、緊張しているのは私だけではないのだと少し安心しました。

午前中のリハーサルを終え、いよいよ本番。それぞれの都道府県が順に呼ばれ、ついに山口県の番になりました。舞台袖から出ると、まぶしいライトが私を照らし、ステージ中央に歩いていくと、大勢の人の視線が私に集まつたように感じました。私は山口県代表として、その魅力を精一杯に発表しました。すべての発表が終わり、総合開会式的終盤には、ステージに立った高校生たちが小さなライトを

振りながら声を揃えて叫ぶシーンがありました。その瞬間、会場が一つになり、その一人として自分がここにいることに、誇り、喜びを強く感じました。



総合開会式が終わった後、宮城県の高校生や、韓国やアメリカから来た高校生のステージ発表を見ました。パフォーマンスをしている人たちは生き生きしていて、とても輝いて見えました。特に、宮城県の震災をテーマにしたステージでは、発表している人たちからの復興に向かう強い意志を感じ、私も勇気づけられました。

今回の参加を通じて、多くの高校生に会いました。みんな、全国高等学校総合文化祭に対して全力で取り組んでいました。そんな人たちが作り上げる行事に一員として加わることができて、本当に良かったと思っています。高校生の力の無限の可能性を感じることができた、一生忘れることのできない経験で、私のこれから的人生にとって大きな糧となりました。このような貴重な機会を与えてください、本当にありがとうございました。



自主事業・補助事業の報告

《自主事業》【山口県交響楽団演奏会】

山口県鴻城高等学校

○今回の「山口県交響楽団演奏会」を鑑賞して、普段あまり聴くことのできないオーケストラの演奏を聴くことができました。テレビで時々目にするオーケストラですが、それを生で聴いた時、心や体に伝わってくるこの感覚は一瞬にして音楽の魔法の世界に入ってしまったなど感じました。私は吹奏楽部でパーカッションをしていますが、普段聴くことができない弦楽器の音を聴くことができ、とても新鮮な気持ちになりました。曲の中では、私たちが知っている曲も多く、とてもリラックスして聴くことができました。中でも印象に残ったのが指揮者体験です。これは会場もとでも盛り上がり、指揮者の重要性を改めて実感しました。今回のような体験はめったにないのでとても良い経験になりました。また、私たち吹奏楽部も、山口県交響楽団の皆様のように、素敵な音楽の魔法をたくさんの人たちに届けていけるよう、頑張っていこうと思います。

○オーケストラの演奏を生で聴いたのは初めてでした。はじめの曲の「運命」はCDで聴いたことのある感じとは少し違い、とても迫力があり、1曲目から鳥肌が立ちました。司会者の方が、「音楽は魔法です。人の心を動かすことができます。」と言っておられましたが、演奏を聴いていて本当に音楽は一種の魔法なんだだと感じました。指揮者体験では、オーケストラの方の演奏を聴いて見ているだけでは分からなかったけど、生徒、先生が実際に

に体験したのを見て“指揮者”という存在がどれだけ大切なのが分かりました。指揮をする人によって曲の雰囲気やリズム、盛り上がり方が変わったりと、表現の仕方がたくさんあるところが音楽の面白さなのかなと思いました。楽器についても説明していただき、普段できない体験ができ、とても貴重な時間を過ごすことができました。



《自主事業》【山口県交響楽団演奏会】

下関中央工業高等学校

○今回の演奏会を聴いてとても楽しい気持ちになりました。特に3年生で一番大切な時期で、進路決定に向かうことがたくさんあり大変だったので音楽を聴いてスッキリしました。聴いたことのあるような曲が多くとても楽しめました。白井君が指揮をしたときは手を振るテンポで曲のスピードが変わっていたのでしっかり指揮者を見ているのが分かりました。とても楽しかったです！

○クラシック曲には、あまり興味が無かったのですが、今回の演奏を聴いてとても好きになりました。ゲームなどでも

よくクラシック曲が使われたりしていますが、生で聴いた時の迫力と響きにとても感動しました。もともとクラシックに使われている楽器には少し興味があったのですが、今回の演奏を通して、将来何か一つ演奏できるようになれたらしいなと思いました。特に木管楽器を吹いている皆さんを観て、とてもかっこいいなと思いました。指揮者の大切さにもとても驚きました。先生や生徒の指揮と比べるのは良くないと思いますが、楽器の響きやリズム、音の強弱に大きな違いがあるのだな、と思いました。オーケストラは細かな所まで力を入れないと綺麗な演奏に

ならないのだと実感しました。山口県の代表として、これからも頑張ってください！応援します！！

○今日、山口県に住んでいながら、初めて山口県交響楽団の演奏を生で聞くことが出来ました。音楽が好きな私は、終始 口が開いていたのではないかと思うほど魅了されていました。1曲目から、知っている曲だったので、楽しんで聞けました。私は、吹奏楽部に所属していますが少人数なので、オーケストラの人の多さに驚きました。コラボレーションをする企画の曲を私も練習していたのですが、中間考査もあったので途中で挫折をしてしまいました。今日、演奏会を見てちゃんと練習して参加すれば良かったと思いました。楽器紹介で、私はオーボエと

チェロの音に惚れました。オーボエの少しひずんだ？ゆがんだ？音。そして、チェロの低音。とても綺麗でした。又、機会があればオーケストラを生で聴きに行きたいくと思える日でした。



《自主事業》【はなしの伝統芸能「落語」】

豊浦総合支援学校

○みんなで笑うのが楽しかったです。桂米多朗さんのことばが楽しかったです。

○1時間でたくさんのお話をしてすごかったです。話の内容も面白かったです。

○落語というものは、とても面白い芸能でした。全く異なる同じ言葉をかけたり、物のしぐさが不思議だったりと本当に楽しかったです。

○落語は小学生の時に放送でしか聞いたことがありました。生で聞いたとき、とても面白くて笑いが止まりませんでした。落語ってこんなに楽しいんだなと思いました。またいつか聞きたいなと思いました。

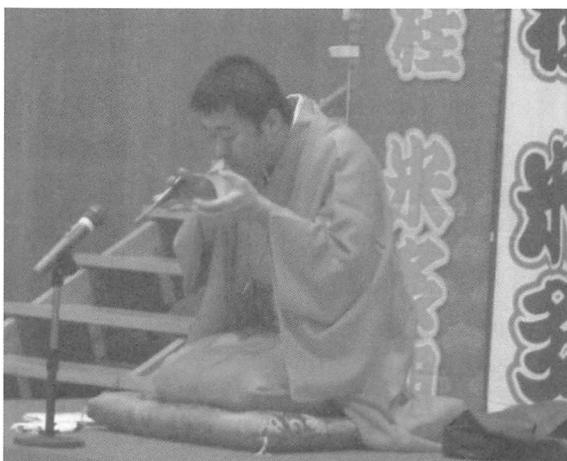
○今回のおはなしの伝統芸能の落語の公演を聞いて、おもしろい内容ばかりで、笑いが止まりませんでした。着物を何枚も重ねて着ていることに驚きました。校長先生や中学部の主事先生が、南京玉すだれを体験して、難しそうでした。機会があけば、また落語をきかせていただきたいと思います。

○基本的にどの内容も面白かったです。貴重な経験ができてよかったです。

○初めて落語を見て、声のトーンや、はりを変えて話をすると、とても面白いなと思いました。知っている話も面白

く感じられるほどでした。このような世界にふれることがなかったので、貴重な経験になりました。

○私は初めて落語を見ました。楽しかったし、面白かったです。桂さんの言った、夢についてもしっかり考えていきたいと思いました。



《自主事業》音楽世界旅行「ピアノとバイオリンのコンサート」

慶進高等学校

○今日は音楽による世界旅行を案内して下さってありがとうございます。各地域ごとの有名な音楽家とその人の曲を聴くと自然にその情景が思い浮かんできました。特に授業でやったことのあるショパンとヴィヴァルディは思い浮かべやすかったです。外国の圧迫から滅亡した母国への愛国心を抱いていたショパンの「革命」は、因果関係があるかは知りませんが愛国心と「革命」が僕の中ではつながりました。他にも、エルガー作曲の「愛のあいさつ」やバッハのガヴァット、ミーチャムのアメリカン・パトロールの最後の部分は聴いたことがあり、初めて名前と結びつきました。ウィーン行進曲は曲の途中で急に冒頭部分のタラタッターラタタに戻って印象的でした。しかし、僕が最も印象的だったのが「子守唄」です。家に帰って調べるとフォーレ以外の有名な作家も作っていたからです。美しい音色をありがとうございました。

○ピアノとヴァイオリンのコンサートを聴いて私はとても感動しました。生でプロの演奏を初めて聴けてよかったです。情景を思い浮かべながら聴いていると、音楽の中に入り込んでいくような気分になりました。特にヴィヴァルディの春は、小鳥のさえずり、小川の流れをヴァイオリンで表現されて、春の陽気や移り変わりを感じることができました。ヴァイオリンは四本の弦しかなくて音を出すのが難しいのに、美しいメロディーで想像を膨らませる力があつたのですがプロだなと思いました。ピアノを弾いていた三輪郁さんはとても魅力的な方で、表情が豊かで楽しそうに演奏されていて、聴いている私も心が弾み楽しい気持ちになりました。聴いたこともない曲もありましたが、あつという間に時間が過ぎて全ての曲が心に残りました。このような素晴らしい「コンサート」を体験できる機会があつたとてもありがとうございました。

《自主事業》【巡回演劇公演】宇部芸術座

美祢青嶺高等学校

○今回『べつかんこ鬼』の公演をしてくださって、ありがとうございました。初めはどんな物語なのか、全く想像できなかったけれど、見てみたら想像以上に感動してとてもおもしろかったです。役者さん一人ひとりが役になりきっていて、楽しい場面ではみんなが笑っていて、悲しい場面ではおもわず涙が出てきました。自然と物語にひきこまれるような、とてもすばらしい演技だったなと思います。また、草や木の絵も本物みたいだったし、曲の流れるタイミングや音量もすごかったです。明かりもその場の雰囲気で変わったり、場面が変わるときにセットを素早く交換したりして、演技も大事だけど、こういったことも上手くすることで、より物語もよくなるんだなと思いました。このような公演を見ることはなかなかないので、見ることができて本当によかったです。公演をしてくださった方、これからもいろんな場所で公演会をしていくください。そして、また美祢青嶺高校に公演に来てください。今回は本当にありがとうございました。

○今日の公演の『べつかんこ鬼』を見て、鬼の優しさ、目が見えないユキの不自由さ、そして命の尊さを知ることができました。目が見えないユキに優しくしてくれる鬼——なかなか仲良くなれませんでしたが、笛のおかげで鬼と人間の関係性を超えて、夫婦になっていくというストーリー



《自主事業》【巡回演劇公演】劇団海峡座

豊北高等学校

○「ヘレンケラー」の本は、小学校の頃、図書室で借りて読んだことがあります。本を読んでいるときと、今回の劇団海峡座さんの公演とではその“臨場感”が全然違いました。特に、ヘレンケラー役の方の演技がとてもリアルで、鳥肌が立ちました。耳も聞こえない、目も見えない、話すことも難しいというヘレンを演じることはとても難しいと思います。しかし、目の前に本当のヘレンが存在しているようで、最後まで見入ってしまい、あつという間に時間がたってしまいました。今回の「ヘレンケラー」以外の劇も見たくなりました。私はこの3月で豊北高校を卒業しますが、下関北高校になってもこのような公演を実施してもらいたいと思います。本日は良い思い出になりました。ありがとうございました。

○今日の劇団海峡座の公演はとても感動しました。私が小学校の頃に見た劇団には語りがなく、みんなが演技をするというものでした。今回はその場に語りの方がいるという新しいものを見ることができたことがとても嬉しく思いました。ヘレン・ケラーさんは小さいときに視覚・聴覚・言語の3つを失ってしまい、大変な人生を歩んでいかな

くてはならないとき、家庭教師であるアン・サリヴァンがヘレン・ケラーの人生を大きく変えたことが本当に素晴らしいと思いました。もし私が視覚・聴覚・言語を失ったら、この先どう生きていけば分からなくなると思います。しかし、サリヴァンがあきらめず、ヘレン・ケラーのために彼女に対する教え方を見直し、それにより彼女がきちんと理解してくれたことはサリヴァンの自信にもつながり、彼女自身にも希望を与えたのではないかと思いました。私は今回この公演を見させていただき、劇団員の難しい演技を堂々とやり切る素晴らしさに感動しました。同時に、視覚などを失った人々の自信や勇気につながると思います。



《自主事業》【巡回演劇公演】劇団のんた

柳井高等学校

○鏡のない時代に自分の顔を見ることができないですから、自分の顔を他人の顔であると思ってしまうという場面がとてもおもしろく感じました。また、鏡をとおしての“やすけ”的父親への愛、松の夫への愛など今の日本人にどこか欠けている家族愛を感じることができました。妹や弟の都会へのあこがれ、今の自分にもつながるものがあると感じました。以上のとおり、家族愛、子供たちの都会へのあこがれ、親からの旅立ちなど、自分の中で大きく考えさせられる公演は非常に興味深いものであったと思います。また演者さん達の自然な姿に心が引き込まれるようでした。

○私たちが普段あたりまえのように使っている鏡を、もし私が知らなかつたら、どんな反応をするだろうと想像したりして、とても楽しく鑑賞することができました。私も板のような薄い物の中に人がいると思って、きっと驚いているのではないかと思います。それで自分の顔が映っていることに気づくのか気づかないのかは分かりませんが、

その経験は自分の中にずっと印象として残ると思います。



《補助事業》【吉田豊ジャズコンサート】

山口農業高等学校

○ジャズコンサートを楽しみにしていました。ジャズはなめらかで強弱が激しかったり、いろいろなリズムがあつたり、心がグッと熱くなりました。校歌を演奏していただいたときには、思わず歌ってしまいました。私は飛び入り参加でドラムをたたきました。プロの方の演奏に自分も加わるとは思ってもいなかつたです。貴重な経験をありがとうございました

○一緒に「恋」と「Take The "A"Train」を演奏することができて、とても楽しかったです。私はジャズの曲を吹いたのは今回が初めてでした。最初はどうなるかと思いましたが、みんなの演奏の迫力に吸い込まれ、とても楽しく演奏することができました。また、みんなの演奏を聴いてとても感動しました。まるで一人ひとりが楽器を使って会話をしているようで、おもしろかったです、アドリブで

自分の思いを強弱などで表現していくすごいと思いました。山農の生徒や先生が途中でドラムやピアノと一緒に演奏したときも、本当にみんなが会話をしているようで、誰がやってもジャズはできるし、人数が増えることで面白さが増すことがわかりました。また、いつかみんなさんのジャズの演奏が聴きたいです。



《補助事業》【吉田豊ジャズコンサート】

下関西高等学校定時制



○ジャズは普段あまり聞くジャンルではないですが、生で聞く演奏はとても良かったと思いました。ただ演奏を聞くだけではなく、楽しみながら演奏を聞くことができました。4人とも楽しそうに演奏していたので、聞いている側も楽しめるようなコンサートだったと思います。途中、西高の校歌を演奏してくれて、しかもアレンジがとてもかっこよかったですので聞き入ってしまいました。また機会があればジャズの生演奏を聞きたいです。

○今までの音楽鑑賞会で一番良かった。ジャズは詳しくはないものの、ジャンルとして好きな部類だったし、生の演奏を聞いたのは初めてだったので、この機会に立ち会

えて良かったです。ジャズにはかっこよさやいやしがあり、奏者によって曲調が変化していくのが面白かったです。参加できて楽しかったし、仕事が最近きつかった分、疲れが飛んでよく眠れそうだなって気持ちになりました。なにより教頭先生が楽しそうでした。

○初めてジャズの生演奏を聞いてとても楽しかったです。ジャズをちゃんと聞いたことがなくて少しですが知ることができたと思いました。元の曲があり、その曲を軸にして、自分のオリジナルにしていき、そして仲間を信頼して、音を奏でる姿はとてもかっこよかったです。音で自分の気持ちを表現し伝えることができる、言葉ではうまく伝えることが出来ないことを音楽で伝えるすばらしさを感じられました。そして、吉田さん達が心から音楽が好きで本当に楽しそうにジャズを演奏されているのを見て、私もすごく楽しく鑑賞することができました。セッションなど皆で参加できたり、とても楽しい時間であつという間に終わり、もっと聞きたかったです。とても楽しく貴重な時間をありがとうございました。

○本日は、素晴らしい演奏を聴かせていただいてありがとうございました。今日聴いて思ったのは、ドラムの迫力、ピアノのやわらかさ、ベースのリード、サックスの伸びの

ある音。本当に感動しました。私は、ジャズを演奏する高校生達の話だったのですが、皆で合わせて、自分を出すことのできる音楽はジャズだからこそできるんだと思いました。そして、会場を一つにして、皆で盛り上がって楽しめるってすごかったです、本当に楽しめたです。今回ジャズを聴いて、もっと聴いてみたいと思いました。校歌の演奏では、あの校歌があんなにオシャレで、こうなんかウワア～ってなる感じになるとは思ってなくて、びっくりしました。最後の方には、笑顔に自然となって幸せな時間を本当にありがとうございました。また、ぜひ!!皆様の演奏を聴けることを楽しみにしています。本日は本

当にありがとうございました。



光高等学校



○ただただ“圧巻”のコンサートでした。本物の音楽を聴いて、心が揺さぶられました。たとえば『カタリ・カタリ』のように辛い心情を訴えた歌では、私の心も切なくなりました。歌詞があったというのもありますが、目を閉じて耳を澄ますと歌声が胸に響き、寂しい気持ちになりました。逆に、金子みすゞの詩を歌った『星とたんぽぼ』のように、心の一番柔らかいところにじわじわとしみいってくる温かい歌もあって、「歌ってすごいなあ。」としみじみ考えさせられました。特に印象に残った歌が『あんこまパン』です。あんこをあんなに素晴らしいものとして歌える方は他にないと思えるほど、あんこがとても素敵なものに感じられました。(私も少し試食してみたかった…。)また、オペラアリアの『誰も寝てはならぬ』は、ほとんど知らなかった他の曲とは異なり、懐かしい気持ちしてくれました。聴いたことがあったためかもしれませんのが、心が掴まれた気分でした。フィギュアスケートの素晴らしい演技にもマッチするこの曲は、何にでも合うのかもしれないとも思いました。映像でなく、声と音によって私の耳と心に直接訴えかけてきた今回のコンサートは、正しく「音

楽」そのものだと思います。苦手に感じていたクラシックやオペラも、少し聴いてみたい気分になりました。

○目と耳、体でオペラを聴くという、とても新鮮な体験をさせていただきました。曲のほとんどは初めて聴くものでしたが、息を吸う音、歩く動作、手の動きなどを目の当たりにして、また聴いてみたいという衝動に駆られています。曲の途中で藤田さんの声量が大きくなつた時には、耳だけでなく脳まで震えるような気がしました。また「生」で聴くことで、ピアノに強い迫力が感じられ、譜面をめくる動作や鍵盤を叩く指の動きにも圧倒されました。曲間には、野球部に所属されていた高校時代のお話で場を温かい空間に変え、『あんこまパン』へとつないでいく話術もすごいと思いました。自分もあんこまパンを食べてみたいと思いましたし、機会があれば歌を口ずさんでみるかもしれません。オペラに限らず、日々耳にするような有名な曲についても、込められた意味や背景を知ることで、場面を想像して聴く楽しみが生まれるのだと思います。日常においては稀な、「生」のオペラに触れる貴重な機会を与えてくださったことに感謝いたします。



山口県高等学校文化連盟自主事業・補助事業実施校一覧 No.1

数字は実施年度（62～63は昭和、1～29は平成）、※は今年度実施予定、（定）は定時制、（分）は分校

番号		自 主 事 業				補助事業
		青少年劇場小公演	山口県交響楽団	巡回演劇教室		
				劇団のんた	宇部芸術座	下関海峡座
1	周防大島 安下庄校舎	63, 7, 25	4, 10	10, 21, 28		26, 27
	久賀校舎	63	3			
2	岩国	1				
	坂上分校	63, 11	5, 26	3		
	広瀬分校	63, 14, 21	17	20, 26		
3	岩国総合	1, ※30	11			
4	高森		2			
5	岩国商業	3		62, 15		
	定時制東分校					
6	岩国工業		2	6, 8		
7	柳井		7	11, 29		19
8	柳井商工		11, 14	1, 4, 11, 14, 27		
9	熊毛南	63, 19(分), 27	6, 17	12, 24		20, 26, 28, ※30
10	田布施農工	15(分), 18(分)	3, 18, 20, 27	5, 24	16	22
11	光	63, 20(定)	8, 23	17		21, 29
12	光丘		8, 11		14	28
13	下松	63, 7, 12	15			
14	華陵	63	8	1		
15	下松工業		1			
16	熊毛北		2, 14	63, 7		
17	徳山	4(定), 8(定), 10(定)	15		12	
	徳山北分校	63, 21	4, 11	8		20
	鹿野分校	3, 10	9	1, 16		
18	新南陽	63	22	25	5	14
19	徳山商工	63, 1, 5		3, 4	7	
20	南陽工業	1	62			
21	防府					23
	佐波分校	63, 7	27			
22	防府西	1	10			
23	防府商工	63(定), 1	12, ※30		6	
24	山口	62(定), 15(定), 16(定)	2			27
	徳佐分校	63(分), 25, 27	63, 10, 20	13		
25	山口中央	63, 10, 12, 13				22
26	西京	62	4		7	
27	山口農業		5, 21		3	24
28	宇部	63				
29	宇部中央	1(定), 14(定)	10, 19		63, 26	※30
30	宇部西		14, 28		10, 23	
31	宇部商業	63	62, 6		3	
32	宇部工業	2, 13	8			
33	小野田	63(定)		22, 27(定)	25	
34	厚狭	1	15, 21		9, 18	28
35	小野田工業	63(定)			4	
36	美祢青嶺	4, 22	63	17, 20, 29	10	
37	田部		1, 13		18	20
38	西市		63	22	27	23

山口県高等学校文化連盟自主事業・補助事業実施校一覧 No.2

数字は実施年度（62～63は昭和、1～29は平成）、※は今年度実施予定、（定）は定時制、（分）は分校

番号		自 主 事 業				補助事業
		青少年劇場小公演	山口県交響楽団	巡回演劇教室		
				劇団のんた	宇部芸術座	下関海峡座
39	豊浦					
40	長府	1				26,※30
41	下関西					19,28,29(定)
42	下関南	22				
43	響	5	1			
44	下関北・豊北	62	3.28		15,22,29	※30
45	下関工科	62,28	12,25,29		2,6	19,20,22
46	大津緑洋 大津校舎	63	12		5	
	日置校舎	63,5,9,15	19		25	2,13,23
	水産校舎		12			22
47	萩	63	3		6	24
	奈古分校	11,17	1,9,24		26	
48	萩商工	63	6,7,16	23	9	2,4,12,17
49	下関中等教育				5	
50	岩国総合支援	3,13,16,※30	24	10,19		
51	田布施総合支援	6,17	62	※30		
52	周南総合支援	15,17,20				
53	徳山総合支援	1,11				
54	防府総合支援	62,63,3,12,26,28	16			
55	山口南総合支援					
56	山口総合支援	19	14			
57	宇部総合支援	63,5,14	1,9	18		
58	下関南総合支援	63,3,8,10,16	7,25		1	
59	下関総合支援	2,6	16			
60	豊浦総合支援	11,13,16,23,29	26		19,21	20,27
61	萩総合支援	6,24				
62	下関商業	14(定)				
63	高水			62		
64	柳井学園	6		63		
65	聖光		2,※30			
66	山口県桜ヶ丘					
67	誠英				7	9
68	高川学園					
69	中村女子	63	2,5,22		11	16
70	野田学園	63	18			
71	山口県鴻城		10,29		12,15	
72	宇部鴻城		7		9	
73	慶進	29	23		※30	21
74	成進					
75	宇部フロンティア香川		1,5,15		11,19,28	
76	サビエル					
77	下関国際					
78	梅光学院					
79	早鞆					
80	下関短期大学付属	62,63,4,7,24,26			8	28
81	長門		6			
82	萩光塩学院					

平成 29 年度 山口県高等学校文化連盟 事業報告

月	日	事業	会場
4	13 20	会計監査 第1回企画運営委員会	山口中央高校 山口中央高校
5	12 23 27 ~ 28 29	評議員会 平成28年度集録「高文連」発行 公益社団法人全国高等学校文化連盟定時総会 県高校総合文化祭「将棋部門」(主管:徳山高校) 県高校総合文化祭「小倉百人一首かるた部門」(主管:小野田高校) 自主事業「山口県交響楽団演奏会」	山口市:セントコア山口 東京:アイビーホール 防府市文化福祉会館 小野田高校 武道場 山口県鴻城高校
6	15 16 ~ 17 17 21 30	第39回県高校総合文化祭総合開会式(主管:岩国商業高校) 県高校総合文化祭音楽4部門発表会(主管:柳井高校・岩国・柳井支部) 県高校総合文化祭「日本音楽部門」(主管:徳山高校) 自主事業 巡回演劇「宇部芸術座」 第28回中国地区高等学校文化連盟 理事会及び関係者合同会議	シンフォニア岩国 シンフォニア岩国 周南市文化会館 美祢青嶺高校 広島県広島市: ホテルセンチュリー21広島
7	22 ~ 23 31 ~ 4 31 ~ 4	全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会 (公社) 全国高等学校文化連盟各専門部会 第41回全国高等学校総合文化祭	滋賀県 大津市 近江神宮 宮城県 宮城県
8	1 26 ~ 27	(公社) 全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議 第28回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	宮城県:仙台市 東京:国立劇場大劇場
9			
10	16 19 21 23 26 28 ~ 29 28 ~ 29 28 ~ 29	自主事業 青少年劇場小公演 はなしの伝統芸能「落語」 自主事業 巡回演劇「劇団のんた」 県高校総合文化祭「囲碁部門」(主管:山口高校) 自主事業「山口県交響楽団演奏会」 自主事業 青少年劇場小公演 音楽世界旅行「ピアノとバイオリンのコンサート」 県高校総合文化祭「書道部門」(主管:下関南高校) 県高等学校総合文化祭「演劇部門」(主管:サビエル高校) 第20回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会	豊浦総合支援学校 柳井高校 防府商工高校 下関中央工業高校 慶進高校 下関市民会館展示ホール 不二輸送機ホール(山陽小野田市文化会館) 山口県山陽小野田市:山陽小野田市民体育館
11	4 9 10 14 15 10 ~ 12 11 ~ 12 11 11 17 ~ 19 17	県高校総合文化祭「放送部門」(主管:下松高校) 補助事業「藤田卓也テノールコンサート」 自主事業 巡回演劇「劇団海峡座」 補助事業「吉田豊ジャズコンサート」 補助事業「吉田豊ジャズコンサート」 県高校総合文化祭「写真部門」(主管:新南陽高校) 山口県中学校文化連盟第13回総合文化祭下関大会 県高校総合文化祭「文芸部門」(主管:光丘高校) 第19回高校生文芸道場中国ブロック大会(県総文祭文芸部門を兼ねる) 県高校総合文化祭「美術・工芸部門」(主管:山口高校) 第1回専門部理事長会	ニューメディアプラザ山口 光高校 豊北高校 下関西高校定時制 山口農業高校 新南陽ふれあいセンター 下関市菊川ふれあい会館(アピール) 梅光学院大学 下関市:梅光学院大学 山口市民会館展示ホール 山口中央高校
12	7 ~ 8 8 16 ~ 17 21 ~ 24 25 ~ 26	第29回全国高等学校文化連盟研究大会(京都大会) 全国高等学校文化連盟実務担当者会議 第16回中国地区高等学校将棋選手権大会 第55回中国地区高等学校演劇発表会 第21回中国地区高等学校囲碁選手権大会	京都府京都市: 京都府公館・府民ホールアルティ 同上 岡山県岡山市:ピュアリティーまきび 山口県下関市:下関市民会館 山口県山口市:山口県健康づくりセンター
1	1 24 25 ~ 27 27 ~ 28	山口県中文連・高文連合同調査研究打ち合わせ会 第2回専門部理事長会 第26回全国高等学校将棋新人大会 第3回中国地区高等学校放送コンテスト	山口中央高校または大殿中学校 山口中央高校 静岡県浜松市: グランドホテル浜松 山口県防府市: 防府市地域交流センター アスピラート
2	19	第2回企画運営委員会	山口中央高校
3	15 23 27	平成29年度中国地区高文連実務担当者会議 マーチングバンド・ハントワリング講習会 第37回山口県高等学校 器楽・管弦楽スプリングコンサート(主管:山口高校)	広島県広島市:広島市立舟入高等学校 長府高校 山口市民会館

【その他】 各専門部会……部会長校を中心に開催予定
各専門部研修会…県下各地において開催予定

※巡回演劇教室3公演、巡回音楽教室(山響)2公演、青少年劇場小公演2公演
※補助事業4公演

平成 29 年度 山口県高等学校文化連盟 会計決算書

収入総額	23,813,801円
支出総額	21,769,178円
差引残高	2,044,623円

収入の部		(単位:円)		
区分	予算額	決算額	増減額(減△)	摘要
繰越金	1,722,838	1,722,838	0	
会費	11,937,600	12,128,200	190,600	
内訳				
全 日 制	11,770,500	11,958,800	188,300	350円×34,168人
定時制・総合支援	64,500	64,900	400	50円×1,298人
学校負担金	102,600	104,500	1,900	100円×1,045学級
補助金	5,673,000	5,423,925	△ 249,075	山口県より
内訳				
県総文祭	485,000	485,000	0	主催 岩柳地区
全国総文祭	5,188,000	4,938,925	△ 249,075	主催 宮城県
参加負担金	139,000	138,000	△ 1,000	全総文祭参加校より
調整基金から繰入	4,400,000	4,400,000	0	
雑 収 入	1,562	838	△ 724	利息等
合 計	23,874,000	23,813,801	△ 60,199	

支出の部		(単位:円)		
区分	予算額	決算額	残額(超過△)	摘要
運営費	1,771,400	1,626,091	145,309	
内訳				
事務費	410,000	377,073	32,927	事務機器維持費 事務用品費 ホームページ維持管理費等
通信費	340,000	272,140	67,860	電話 郵便 運送料等
分担金	521,400	522,200	△ 800	全国高文連会費 賛助会費 中国高文連分担金 県文連会費
賃金	500,000	454,678	45,322	事務補助賃金
会議費	2,343,000	2,154,751	188,249	
内訳				
会議費	350,000	286,411	63,589	大会参加費 委員会・理事会・県総文祭次年度準備委員会旅費 会議用お茶代等、保険料
旅費	1,993,000	1,868,340	124,660	全国会議(宮城) 中国地区会議(広島) 研究大会(京都) 県内視察
事業費	19,651,342	17,988,336	1,663,006	
内訳				
県総文祭	6,893,911	6,331,366	562,545	総合開会式 各部門大会開催費
全総文祭	6,870,000	6,331,327	538,673	生徒旅費補助 引率旅費補助 運搬費 参加負担金
自主事業	1,839,200	1,759,200	80,000	自主事業7公演 辅助事業3公演
大会補助金	1,185,231	944,561	240,670	かるた、放送、演劇、囲碁、文芸部門中国大会補助金
専門部会費	2,473,000	2,250,794	222,206	研修費 全国分担金 役員旅費・保険料等
印刷費	340,000	338,688	1,312	集録 会報 県総文連スルー 賞状
中高連携費	50,000	32,400	17,600	中高文連交流事業
調整基金	0	0	0	
予備費	108,258	0	108,258	
合 計	23,874,000	21,769,178	2,104,822	

平成 29 年度 調整基金会計決算書

(単位:円)

前年度繰越	一般会計へ繰出	今年度末残高
8,400,000	4,400,000	4,000,000

上記の通り相違ありません
平成30年 4月 12日

監事

監事

徳重正昭
小土井 実義

平成30年度 山口県高等学校文化連盟 事業計画

月 日	事 業	会 場
4 12 19	会計監査 第1回企画運営委員会	山口中央高校 山口中央高校
5 11 19 22 22 26 ~ 27 27 28	評議員会 平成29年度集録「高文連」発行 公益社団法人全国高等学校文化連盟定時総会 自主事業 巡回演劇「宇部芸術座」 県高校総合文化祭「将棋部門」(主管:徳山高校) 県高校総合文化祭「小倉百人一首かるた部門」(主管:慶進高校) 山口県文化連盟 総会・文化交流パーティー	山口市:セントコア山口 東京:アイビーホール 慶進高校 防府市文化福祉会館 小野田高校 武道場 山口市:ホテルニュータナカ
6 11 14 15 ~ 16 16 29	自主事業「山口県交響楽団演奏会」 第40回県高校総合文化祭総合開会式(主管:新南陽高校) 県高校総合文化祭音楽4部門発表会(主管:徳山高校・周南支部) 県高校総合文化祭「日本音楽部門」(主管:中村女子高校) 第29回中国地区高等学校文化連盟 理事会及び関係者合同会議	聖光高校 周南市文化会館 周南市文化会館 山口県総合保健会館 広島県広島市:
7 3 28 ~ 29	自主事業 巡回演劇「劇団のんた」 全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会	田布施総合支援学校 滋賀県 大津市 近江神宮
8 7 ~ 11 7 ~ 11 8 25 ~ 26	(公社) 全国高等学校文化連盟各専門部会 第42回全国高等学校総合文化祭 (公社) 全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議 第29回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	長野県 長野県 (総合開会式 松本市:まつもと市民芸術館) 長野県:長野市 メルパルク 東京:国立劇場大劇場
9 7	補助事業「藤田卓也テノールコンサート」	豊北・下関北高校
10 9 15 12 28 24	自主事業「山口県交響楽団演奏会」 補助事業「藤田卓也テノールコンサート」 県高校総合文化祭「文芸部門」(主管:西京高校) 県高校総合文化祭「囲碁部門」(主管:下関西高校) 自主事業 青少年劇場小公演 音楽世界旅行 ピアノとヴァイオリンのコンサート	防府商工高校 宇部西高校 西京高校 下関西高校 岩国総合支援学校
11 3 ~ 4 5 6 9 ~ 11 10 10 10 ~ 11 10 ~ 11 10 ~ 11 13 14 ~ 29 ~ 30 30	県高校総合文化祭「書道部門」(主管:宇部西高校) 補助事業「吉田豊ジャズコンサート」 補助事業「吉田豊ジャズコンサート」 県高校総合文化祭「写真部門」(主管:防府高校) 県高校総合文化祭「放送部門」(主管:下松高校) 第20回高校生芸道場中国ブロック大会 第21回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会 山口県中学校文化連盟第14回総合文化祭 光大会 県高等学校総合文化祭「演劇部門」(主管:山口高校) 自主事業 青少年劇場小公演 話の伝統芸能「落語」 自主事業 巡回演劇「劇団海峡座」 県高校総合文化祭「美術・工芸部門」(主管:下関商業高) 第1回専門部理事長会 第30回全国高等学校文化連盟研究大会(熊本大会) 全国高等学校文化連盟実務担当者会議	おのだサンパーク 熊毛南高校 長府高校 新南陽ふれあいセンター ニューメディアプラザ山口 鳥取県米子市:米子コンベンションセンター BIG SHIP 島根県益田市:益田高校柔剣道場 光市民ホール 防府市公会堂 岩国総合高校 宇部中央高校 下関市立美術館 山口中央高校 熊本県熊本市:KKRホテル熊本 同上
12 15 ~ 16 23 ~ 25 25 ~ 26	第17回中国地区高等学校将棋選手権大会 第56回中国地区高等学校演劇発表会 第22回中国高等学校閉幕選手権大会	鳥取県米子市:米子市公会堂 鳥取県鳥取市:とりぎん文化会館 広島県広島市:広島市東区民文化センター
1 31 ~ 2	山口県中文連・高文連合同調査研究打ち合わせ会 第2回専門部理事長会 第27回全国高等学校将棋新人大会	山口中央高校または大殿中学校 山口中央高校 岡山県玉野市:
2 2 ~ 3	第4回中国地区高等学校放送コンテスト 第2回企画運営委員会	島根県出雲市:出雲工業高校・大社文化プレイス 山口中央高校
3 15 27	平成30年度中国地区高文連実務担当者会議 マーチング・バンド・バントワーリング講習会 第38回山口県高等学校 器楽・管弦楽スプリングコンサート(主管:柳井高校)	広島県広島市:広島市立舟入高等学校 サンビームやない
【その他】 各専門部会………部会長校を中心に開催予定 各専門部研修会…県下各地において開催予定		
※巡回演劇教室3公演、巡回音楽教室(山響)2公演、青少年劇場小公演2公演 ※補助事業4公演		

平成30年度 山口県高等学校文化連盟 会計予算書

収入総額	21,763,153円
支出総額	21,763,153円

収入の部		(単位 : 円)		
区分	予算額	前年度予算額	増減額(減△)	摘要
繰 越 金	2,044,623	1,722,838	321,785	
加 盟 費	11,879,000	11,937,600	△ 58,600	
内訳				
全日制	11,711,000	11,770,500	△ 59,500	350円×33,460人
定時制・総合支援	64,500	64,500	0	50円×1290人
学校負担金	103,500	102,600	900	100円×1035学級
補 助 金	3,715,000	5,673,000	△ 1,958,000	山口県より
内訳				
県総文祭	485,000	485,000	0	主催 周南地区
全国総文祭	3,230,000	5,188,000	△ 1,958,000	主催 長野県
参 加 負 担 金	124,000	139,000	△ 15,000	全総文祭
調整基金から繰入	4,000,000	4,400,000	△ 400,000	
雜 収 入	530	1,562	△ 1,032	利息等
合 計	21,763,153	23,874,000	△ 2,110,847	

支出の部		(単位 : 円)		
区分	予算額	前年度予算額	増減額(減△)	摘要
運 営 費	1,730,600	1,771,400	△ 40,800	
内訳				
事務費	360,000	410,000	△ 50,000	連盟旗 記念品 事務機器維持費 事務用品 HP管理費等
通信費	300,000	340,000	△ 40,000	振込手数料 電話 郵便 運送料等
分担金	520,600	521,400	△ 800	全国高文連会費 賛助会費 中国高文連分担金 県文連会費
賃金	550,000	500,000	50,000	事務補助賃金
会 議 費	1,970,000	2,343,000	△ 373,000	
内訳				
会議費	320,000	350,000	△ 30,000	大会参加費 委員会・理事会・県総文祭次年度準備委員会旅費 会議用お茶代等、保険料
旅 費	1,650,000	1,993,000	△ 343,000	全国会議(長野) 中国地区会議(広島) 研究大会(熊本)県内視察旅費
事 業 費	16,385,254	19,651,342	△ 3,266,088	
内訳				
県総文祭	6,995,754	6,893,911	101,843	総合開会式 各部門大会開催費
全総文祭	4,700,000	6,870,000	△ 2,170,000	生徒旅費補助 引率旅費補助 運搬費 参加負担金
自主事業	1,839,200	1,839,200	0	自主事業7公演 補助事業4公演
大会補助金	50,000	1,185,231	△ 1,135,231	5専門部中国大会 特別支援学校文化祭
専門部会費	2,480,300	2,473,000	7,300	研修費 全国分担金 役員旅費・保険等
印 刷 費	270,000	340,000	△ 70,000	集録 会報 県総文ボスター
中高連携費	50,000	50,000	0	中高文連交流事業
調整基金	0	0	0	
予 備 費	1,677,299	108,258	1,569,041	
合 計	21,763,153	23,874,000	△ 2,110,847	

平成30年度 調整基金会計予算書

(単位 : 円)

前年度繰越	一般会計へ繰出	今年度末残高
4,000,000	4,000,000	0

山口県高等学校文化連盟規約

昭和62年4月1日制定
平成元年4月1日改正
平成2年4月1日改正
平成3年4月1日改正
平成4年4月1日改正
平成6年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成9年4月1日改正
平成15年4月1日改正
平成16年4月1日改正
平成18年4月1日改正
平成20年4月1日改正
平成21年4月1日改正
平成22年4月1日改正
平成23年5月6日改正
平成25年5月10日改正

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この連盟は、山口県高等学校文化連盟と称する。

(事務局)

第2条 本連盟の事務局を山口市宮島町6番1号山口中央高等学校に置く。

(目 的)

第3条 この連盟は、高等学校における生徒の創造活動の向上充実を図り、文化活動の健全な発展と芸術文化の振興に資することを目的とする。

(事 業)

第4条 この連盟は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 山口県内の高等学校による文化活動行事の開催に関する事業。
- (2) 全国高等学校文化連盟が主催する行事への派遣に関する事業。
- (3) 芸術文化に関する研修会、講習会、鑑賞会、講演会等の開催に関する事業。
- (4) 高等学校等の文化活動に関する調査研究事業。
- (5) 高等学校による文化活動の国際交流に関する事業。
- (6) その他前条の目的の達成に必要な事業。

(組 織)

第5条 この連盟は、山口県内の公立及び私立すべての高等学校（中等教育学校後期課程を含む）。

以下、「高等学校」という。）並びに高等部を設置している特別支援学校をもって組織する。

2 山口県内を七つの地域に分け、地域ごとに連合体を組織することができる。

この場合において、地域の区分は、山口県高等学校校長会の区分と同じものとする。

第6条 この連盟に、次の専門部を置く。

2 演劇、器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・バトントワリング、日本音楽、吟詠剣詩舞、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、放送、文芸、自然科学、小倉百人一首かるたの各部門とする。

第2章 役 員

(役 員)

第7条 この連盟に次の役員を置く。

- | | |
|------------|---------|
| (1) 会長 | 1人 |
| (2) 副会長 | 若干人 |
| (3) 評議員 | 各加盟校に1人 |
| (4) 支部長 | 7人 |
| (5) 専門部会長 | 16人 |
| (6) 専門部理事長 | 16人 |
| (7) 監事 | 2人 |
| (8) 参与 | 若干人 |

(役員の選出)

第8条 役員の選出は、次のとおりとする。

- (1) 会長及び副会長は、評議員の互選により選出する。
- (2) 評議員は、加盟校の校長をもって充てる。
- (3) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、各地域及び専門部の推薦に基づき、会長が委嘱する。
- (4) 監事及び参与は評議員会の推薦に基づき、会長が委嘱する。

2 役員の兼任は妨げない。

(役員の職務)

第9条 役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、この連盟を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を行う。
- (3) 評議員は、評議員会に出席し、この連盟の事業について審議する。
- (4) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、企画運営委員会を構成し、この連盟の会務を審議し、執行する。
- (5) 監事は、会計を監査する。
- (6) 参与は会長の諮問に応ずる。

(役員の任期)

第10条 役員は高等学校等に在職する者とし、その任期は2年とする、ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは、必要に応じて補充する。ただし、任期は前任者の残任期間とする。

第3章 会 議

(会 議)

第11条 この連盟の会議は、次に掲げる通りとし、会長が必要に応じてこれを招集する。

- (1) 評議員会
- (2) 企画運営委員会

(3) 理事長会

- 2 会議の議長は、会長がこれに当たる。
- 3 会議は、構成員の2分の1以上の出席がなければ、開会することができない。
- 4 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決定する。
- 5 会議に出席できない構成員は、代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2項の規定の適用については、会議に出席したものとみなす。

(評議員会)

第12条 評議員会は、次の事項を審議し決定する。

- (1) 規約の制定及び改廃に関する事項
- (2) 予算及び決算に関する事項
- (3) その他、連盟の運営に係わる重要事項

(企画運営委員会)

第13条 企画運営委員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 評議員から委任された事項
 - (2) 会務の運営及び執行に関する事項
 - (3) その他、連盟の運営に係わる軽易な事項
- 2 企画運営委員会に事業の運営及び執行のために委員会を置くことができる。
 - 3 委員会は、事業を主管する学校長を委員長とし、委員として当該事業担当の教職員若干人及び専門教職員をもってこれに充てる。
 - 4 委員会の委員の任命及び委員会議の招集は、委員長が行うことができる。

(理事長会)

第14条 理事長会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 企画運営委員会から委任された事項
- (2) その他各専門部の運営に係わる事項

第4章 会計

(経費)

第15条 この連盟の経費は、各高等学校等の加盟費、補助金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第16条 この連盟の収支予算は、評議員会の決議により定め、収支決算は、会計年度終了後、監事の監査を経て次の評議員会でその承認を得なければならない。

(会計年度)

第17条 この連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計経理)

第18条 この連盟の会計経理の手続きについては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第5章 事務局

(事務局)

第19条 この連盟の事務を処理するため、事務局を置く。

(運営)

第20条 事務局の運営に関しては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第6章 雜則

第21条 この連盟の規約の施行について必要な事項は、評議員会の議決を経て、別に定める。

附 則

この規約は、昭和62年4月1日から施行する。

山口県高等学校文化連盟諸規程

[会計規程]

昭和62年4月1日制定
平成4年4月1日改正
平成5年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成20年4月1日改正
平成23年5月6日改正

第1条 この規定は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、会計経理に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条 すべての収入、支出は予算に計上しなければならない。

第3条 会長は、収支予算書及び事業計画書の案を作成し、これを評議員会に提出しなければならない。

第4条 会計経理は、収入科目、支出科目及び整理科目を設けて経理の整理をし、現金及び預金出納簿を備え、全ての経理内容を記入するものとする。

第5条 会長は、決算報告書について、監事の監査を受けた後、これを評議員会に提出しなければならない。

第6条 各高等学校は、毎年5月31日までに、加盟費を納入するものとする。

加盟費内訳

①各高等学校生徒数に以下の金額を乗じたもの。

(全日制生徒)	350円
(定時制、特別支援学校高等部生徒)	50円

②各学校の学級数に100円を乗じたもの。（定時制、特別支援学校は除く）

第7条 この規程の執行に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

[事務局規程]

昭和62年4月1日制定
昭和62年7月14日改正
平成23年5月6日改正

第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、事務局の運営に関し必要事項を定めるものとする。

第2条 事務局に次の職員を置く。

- (1) 事務局長
- (2) 事務局員 ア 事務局次長 イ 総務係 ウ 会計係

第3条 事務局長は、会長の命を受け、事務局の事務を統括する。

第4条 事務局次長は、事務局長を補佐する。

第5条 事務局総務係は、事務局長の命を受け、総務・企画・文書等に関する事項を分掌する。

第6条 事務局員会計係は、事務局長の命を受け、会計に関する事項を分掌する。

第7条 事務局の会計に関する規程その他事務処理上必要な諸規程は、別に定める。

第8条 その他事務局の細目的事項は、会長が別に定める。

第9条 会長が命令する出張等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

山口県高等学校文化連盟表彰規程

昭和62年4月1日制定
昭和62年7月14日改正
平成元年4月1日改正
平成2年4月1日改正
平成6年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成15年4月1日改正
平成18年4月1日改正
平成24年5月11日改正
平成25年5月10日改正
平成26年5月9日改正

第1条 山口県高等学校文化連盟規約第4条6号に基づく表彰規程を次のように定める。

(表彰の種類)

第2条 本規程に基づく表彰は、次のとおりとする。

(1) 文化功労賞

(2) その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの

(文化功労賞)

第3条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、当該年度の卒業予定者を対象として授与する。

第4条 受賞人員は在籍生徒数120名に対し1名の割合を原則とする。

第5条 本賞の受賞者の選考は、当該学校に一任する。

第6条 本賞の受賞者の選考基準は、次のとおりとする。

(1) 人格、識見共に優秀と認める者。

(2) 芸術文化活動歴が優秀である者、ただし、その活動は学校の内外を問わない。

第7条 各学校は、受賞者を決定し、別記様式(1)により、本連盟事務局あて報告するものとする。

第8条 本賞の授与は、卒業式に関する行事に際し、施行することを原則とする。

(その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めた者)

(優秀芸術文化賞)

第9条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、各専門部において、全国大会等で特に優秀な成績をおさめたと認められた個人並びに団体を対象とする。

(功績賞)

第10条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、長年にわたり本連盟の発展に寄与した者を対象とする。表彰は退職する年度または退職後に行う。ただし、専門部理事長を3期6年勤めた者は退任時に表彰することができる。

(優秀指導者賞)

第11条 本賞は、第10条功績賞対象者のうち、全国高等学校総合文化祭表彰規定により表彰され部の指導を行った者を対象とする。

第12条 第9条、第10条、第11条の授賞については、高文連企画運営委員会に諮り、これを決する。本賞の授与は県総文祭の総合開会式で行うことを原則とする。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

山口県高等学校文化連盟旅費支給基準

[旅費支給基準]

昭和62年4月1日制定
昭和63年4月1日改正
平成元年4月1日改正
平成11年4月1日改正
平成13年4月1日改正
平成16年4月1日改正
平成22年4月1日改正
平成28年5月13日改正

- 第1条 会長が招集する会議等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。
- 第2条 県総文祭の運営に関する旅費は、委託された主管校から山口県旅費規程に準じて支給する。
- 第3条 全国高等学校総合文化祭に関する旅費の引率教員は山口県旅費規程に準じて支給する。
生徒は、〔交通費実費（学割・団体割引）+宿泊費（大会規定料金）×2泊〕×1/3とする。
※新幹線のみで100km以上の場合は特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）
※在来線で100km以上の場合は急行または特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）
ただし、特殊な事情がある場合はその都度協議し会長が決定する。

[調整基金細則規定]

- 第1条 規約第4条の事業を円滑に遂行し、財務の健全化を図るため調整基金を設ける。
- 第2条 調整基金の額は、年度予算に計上して積み立てるものとする。
- 第3条 調整基金に属する現金は、金融機関への預金等最も確実な方法により保管するものとする。
- 第4条 調整基金は、事業執行上の財源が著しく不足する場合において、当該不足分を補うための財源に充てるときに限り、評議員会の議決によりこれを処分することができる。

附 則

- この規定は、昭和62年4月1日から施行する。
- この細則の施行前の調整基金については、この細則による執行とみなす。

平成 29 年度 山口県高等学校文化連盟役員

職名	氏名	支部・専門部	所属校
会長 副会長	阿武慎治 須藤恒史 御神本実 前田茂雄		山口中央高 徳山高 柳井高 高水高
参与 支部長	高原透 奈迫忠夫 御神本実 須藤恒史 宮地利一 古谷修 山根敬 河村志 郎	岩国支部 柳井支部 徳山支部 山防支部 宇下支部 山閑支部 河北支部	山口高 岩国高 柳井高 徳山高 防宇高 下萩高 萩下萩
専門部会長	伊藤隆昌 齋藤嗣夫 中河口道史 河口史彦 牛見正彦 (休部) 須藤恒史 齋藤嗣夫 宮内俊次郎 高原透 須藤恒史 吉長幸 大塚泰 古谷修 國吉哲	演劇部 樂器合奏部 吹奏樂部 マーチングバンド・バトンツーリング部門 日本音楽部 吟詠詩舞部 美術工芸部 書道部 寫真部 圍碁部 将棋部 放送芸能部 文芸部 自然学科部 小倉百人一首かるた部	府西南高 下萩光 光野田 山陽学園 (休部) 山南陽 下新山德 山松丘部 下光宇小 野田高 防府西南高 下萩光 光野田 山南陽 下新山德 山松丘部 下光宇小 野田高
専門部理事長	近藤真美 秋本隆 杉和歌奈 中山村亮 中平田直 (休部) 濱崎洋子 尾崎利洋 眞弘敏洋 馬勝洋之 松当中木 永木直美 大木永子 青池のぞみ	演劇部 樂器合奏部 吹奏樂部 マーチングバンド・バトンツーリング部門 日本音楽部 吟詠詩舞部 美術工芸部 書道部 寫真部 圍碁部 将棋部 放送芸能部 文芸部 自然学科部 小倉百人一首かるた部	府西南高 下萩光 光野田 山南陽 下新山德 山松丘部 下光宇小 野田高 防府西南高 下萩光 光野田 山南陽 下新山德 山松丘部 下光宇小 野田高
監事	栗林正和 鈴木三郎		防府商工高 西京高
事務局長 事務局次長 事務局員(会計) 事務局員(庶務)	西村正浩 中原聖晴 佐々木靖子 佐賀ひろ子 豊川眞利子	～平成 29 年 12 月 平成 30 年 1 月～	山口中央高 山口中央高 山口中央高 山口中央高 嘱託

平成 30 年度 山口県高等学校文化連盟役員

職名	氏名	支部・専門部	所属校
会長 副会長	阿武慎治 須恒史彦 椎原伸生 崎岩稔生		山口中央高校 徳山高校 柳井高校 中村女子高校
参与 支部長	栗林正和 河口郁史 椎原伸彦 須藤恒史 河村隆一 古谷修 山村根敬 河山河村志	岩国支部 柳井支部 山防支部 宇下支部 山防支部 谷関支部 古山支部 山北支部	岩国高 柳井高 山府高 防字高 下萩高 萩光高 光高 野田高 (休部)
専門部会長	伊藤隆昌 山田哲也 中國清道 國清賢一 牛見正彦 (休部) 須藤恒史 山河田哲也 山村根敬 須吉藤長 鈴木幸三 古谷修 土井一浩	演劇部 楽器合奏部 吹奏楽部 マーチングバンド・バトンツワリング部門 日本詠歌部 吟美術部 書写団体部 放文部 自然科部 小倉百人一首かるた部	府下防下 西南学園 光高 野田學(休部) 山南 高 南 西 高 松京部 小野田高 府下防下 西南学園 光高 野田學(休部) 山南 高 南 西 高 松京部 小野田高
専門部理事長	近藤真美 秋本隆和 杉山奈和 中田亮子 中平直子 (休部) 濱河崎合 尾高弘馬 河馬木 大河井 青池大 のぞみ	演劇部 楽器合奏部 吹奏楽部 マーチングバンド・バトンツワリング部門 日本詠歌部 吟美術部 書写団体部 放文部 自然科部 小倉百人一首かるた部	府下防下 西南学園 光高 野田學(休部) 山南 高 南 西 高 松京部 小野田高 府下防下 西南学園 光高 野田學(休部) 山南 高 南 西 高 松京部 小野田高
監事	小土井実 徳重昭		府山商工高 口農業高
事務局長 事務局次長 事務局員(会計) 事務局員(庶務)	西村正浩 中明聖晴 佐々木靖子 豊川真利子		山口中央高校 山口中央高校 山口中央高校 山口中央高校 山口中央高校 山口中央高校

全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定
向川栄美作詞
乗松美紀作曲

1. てをのばせばほら きつとだれかがささえてくれる
2. よびかければほら きつとだれかがこたえてくれる

みーわたせ一 ば ほら なかもがいつでもそばにいる きみ
こころをひらけ ば ほら なかもはいつでもまっている きみ

はひとりじやない さああるきばだそこ
はひとりじやない さああるきばだそこ

ぼくらのぶんか を つく るく たため 一 に
ぼくらのぶんか を つく るく たため 一 に

全国高文連の歌

一、手を伸ばせばほり
きつと誰かが支えてくれる
見渡せばほり
仲間がいつでもそばにいる
君は一人じゃない
さあ歩きだそう
僕等の文化を創るために

二、呼びかけばほり
きつと誰かが応えてくれる
心を開けばほり
仲間はいつも待つている
君は一人じゃない
さあ翔こう

僕等の文化を築くために

山口県高等学校文化連盟

「高文連」編集委員

(各部門)

演劇	近藤 真美(防府西高等学校)
合唱	杉山 和歌奈(萩光塩学院高等学校)
吹奏楽	中村 亮(光高等学校)
器楽・管弦楽	秋本 隆(下関南高等学校)
日本音楽	平田 直子(野田学園高等学校)
マーチングバンド・バトントワリング	中村 亮(光高等学校)
美術・工芸	濱崎 洋(徳山高等学校)
書道	河合 和子(下関南高等学校)
写真	尾崎 勝利(新南陽高等学校)
放送	馬木 明美(下松高等学校)
囲碁	眞當 良洋(山口高等学校)
将棋	弘中 敏之(徳山高等学校)
小倉百人一首かるた	青池 のぞみ(小野田高等学校)
文芸	松永 直子(光丘高等学校)
自然科学	大田 和子(宇部高等学校)

事務局長	西村 正浩(山口中央高等学校)
事務局次長	中明聖晴(山口中央高等学校)
事務局員(総務)	佐々木 靖子(山口中央高等学校)
事務局員(庶務)	佐賀 ひろ子 豊川 真利子



平成29年度
山口県高等学校文化連盟集録
「高文連」

編集・発行 山口県高等学校文化連盟事務局
〒753-0043 山口市宮島町6-1
山口県立山口中央高等学校内
電話 083-922-0032
FAX 083-932-0813

表紙デザイン／北村友香
(新南陽高等学校2年)

